

IV 下水道事業



「高西東新涯ポンプ場」

高西東新涯ポンプ場は、雨水による浸水被害を軽減するために尾道市と共同で整備した雨水ポンプ場です。

〔事業費負担割合 尾道市：約7割〕
〔 福山市：約3割〕

2014年（平成26年）から整備に着手し、2021年（令和3年）3月20日に竣工、2021年（令和3年）4月1日から供用を開始しました。



「3・4号雨水ポンプ（φ1,500）」

1 公共下水道事業

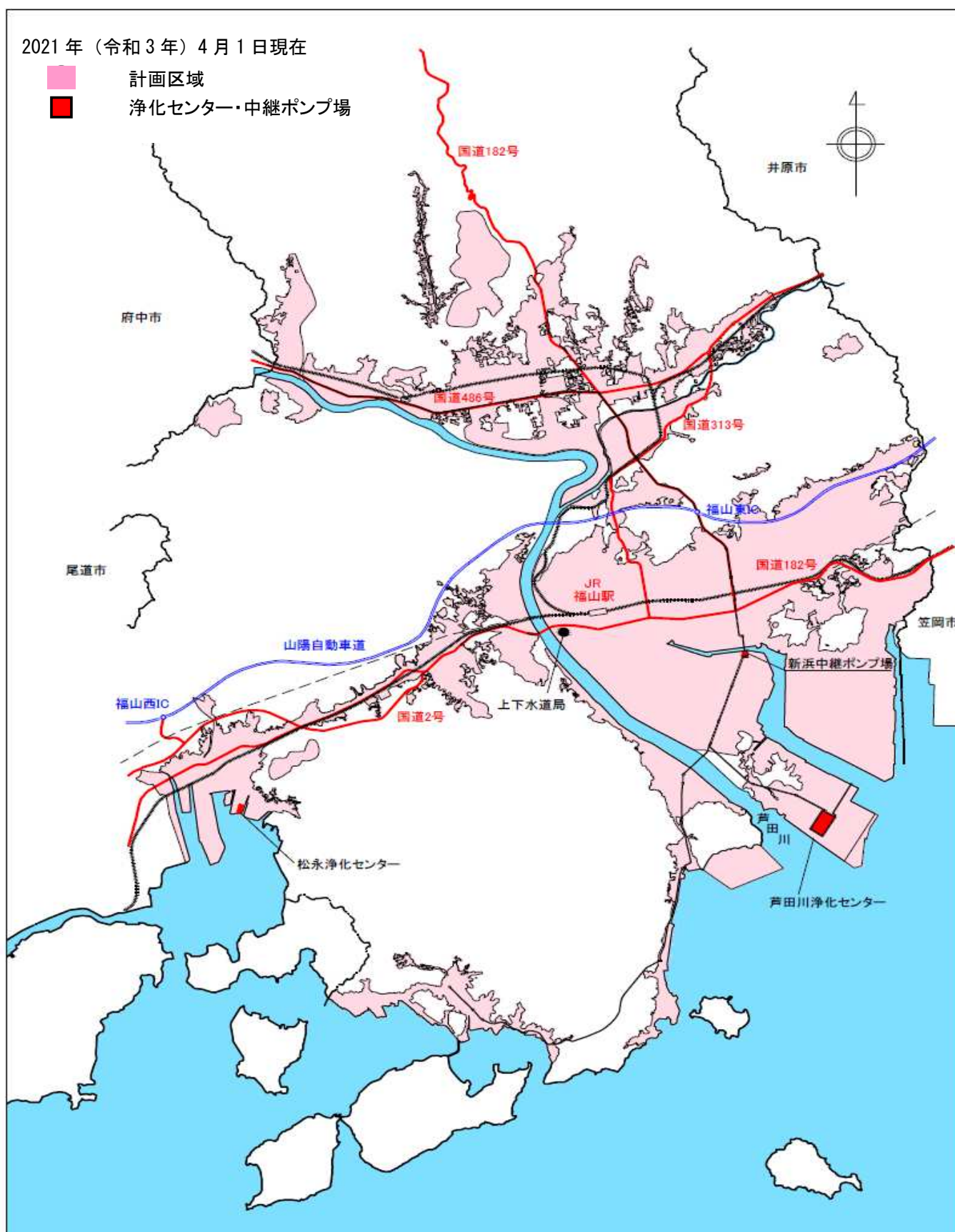
(1) 計画面積及び人口

区分	处理区名	处理分区名	全 体 計 画		事 業 計 画		整 備 済 (2020年度末)	
			面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)
単独 公共	松永处理区		798.5	23,000	639.3	21,620	570.2	26,552
流域 関連 公共 下水道	芦田川 处理区	戸 手 第 3	235.2	3,240	140.2	3,640	126.0	4,007
		戸 手 第 2	75.7	1,810	75.7	2,030	59.2	1,894
		戸 手 第 1	43.7	1,110	43.1	1,220	30.0	1,158
		新 市	211.1	5,990	197.0	6,470	166.0	4,224
		近 田	177.4	6,330	154.4	6,180	152.2	6,540
		万 能 倉	725.1	13,950	435.1	13,490	310.2	13,850
		加 茂	386.3	8,770	261.7	8,210	221.4	8,765
		中 津 原	494.8	18,700	463.0	19,200	435.6	20,237
		蔵 王 第 2	884.3	43,560	780.5	41,240	738.0	44,487
		蔵 王 第 1	346.9	15,810	346.9	16,640	319.3	16,094
		手 城	1,980.0	39,420	1,010.9	39,500	792.3	38,198
		新 涯 南	56.4	3,180	56.3	3,330	56.0	3,872
		新 涯 第 1	1,130.8	49,750	994.6	48,730	801.2	48,156
		箕 島 第 2	37.9	610	36.3	640	28.3	808
		箕 島 第 1	523.4	570	370.6	500	319.6	432
		水 呑 第 2	84.8	3,890	81.9	4,020	79.3	4,236
		水 呑 第 1	266.8	10,960	253.9	11,190	190.0	10,080
		田 尻	240.4	2,260	51.9	2,020	37.5	1,541
		鞆	93.9	4,600	65.8	3,460	39.2	584
		新 浜	1,309.2	66,890	1,301.4	70,060	1,282.8	73,704
		旧新浜处理区	806.0	49,680	806.0	52,310	806.0	54,855
		旧新浜・新涯第2	503.2	17,210	495.4	17,750	476.8	18,849
		常 石 草 深	189.8	3,300	167.2	2,570	73.8	1,665
		新 涯	55.9	1,270	55.9	1,440	47.4	1,543
		横 引	27.5	390	27.5	440	25.1	399
		桜	17.3	270	17.3	310	17.3	183
		白 浜	22.0	280	22.0	320	22.0	429
		能 登 原	16.9	170	16.2	190	13.1	85
		川 北	632.5	18,660	349.6	12,230	295.7	13,004
		川 南 第 2	176.4	3,490	131.8	2,640	-	-
		川 南 第 1	100.3	4,570	92.6	4,430	89.9	3,721
		小 計	10,542.7	333,800	8,001.3	326,340	6,768.4	323,896
合 計			11,341.2	356,800	8,640.6	347,960	7,338.6	350,448

※ 全体計画・事業計画には、服部地区農業集落排水施設分（78.0ha、1,500人（全体計画）・1,640人（事業計画））を含む。

※ 面積（ha）は小数第2位で計算し四捨五入。

(2) 全体計画区域図



(3) 事業計画等の経緯

ア 下水道法事業計画等(福山市単独公共)の経緯の概要

項 目	認可又は協議承認 年 月 日	告示番号又は 広島県文書番号	告 示 又 は 変 更 内 容		
			処理, 排水区域 変 更 等	処 理 施 設 変 更 等	ポ ン プ 施 設 変 更 等
単独当初	1951年11月13日	厚生省広衛 第209号	新浜処理区 処理区域152ha		
第1回変更	1964年3月6日	建設省広都 第53号	新浜処理区拡大(+159ha) 処理区域 計311ha	新浜処理場位置変更	
第2回変更	1971年6月30日	建設省広都 下公発 第4号ノ2	新浜処理区区域増(+495ha) 手城処理区追加(+2,777ha) 処理区域 計3,583ha		
第3回変更	1975年9月18日	建設省広都 下公発第7号		新浜処理場内容変更 凝沈追加	
第4回変更	1976年6月3日	建設省広都 下公発第3号	松永処理区追加 325ha 手城処理区削除 2,777ha 処理区域 計1,131ha		
第5回変更	1980年10月29日	建設省広都 下公発第9号		新浜処理場内容変更 加圧浮上・脱水機増設	
第6回変更	1986年8月29日	建設省広都 下公発第9号		松永浄化センター敷地面積変 更, 新浜処理場・脱臭設備追 加	
第7回変更	1988年3月18日	建設省広都 下公発第3号	松永処理区拡大(+46ha) 処理区域 計1,177ha	松永浄化センター配置変更	相生ポンプ場追加
第8回変更	1990年3月23日	建設省広都 下公発第2号	松永処理区(柳津排水区) 雨水幹線ルート変更		柳津ポンプ場位置変更
第9回変更	1996年3月5日	建設省広都 下公発第5号	新浜処理区合流式下水道 改善計画		
第10回変更	1996年11月25日	建設省広都 下公発第25号	松永処理区拡大(+94ha) 松永機織排水区変更 処理区域 計 1,271ha		
第11回変更	1999年2月26日	建設省広都 下公発第5号	松永処理区拡大(+40ha) 処理区域 計 1,311ha		本郷川中継ポンプ場追加
第12回変更	2002年2月19日	国都下事 第599号	松永処理区拡大(+75ha) 松永処理区全体計画見直し	松永浄化センター能力変更	
第13回変更	2004年11月22日	国都下事 第309号		松永浄化センター汚泥濃縮設 備追加	
第14回変更	2007年9月6日	国都下事 第215号	松永処理区拡大(+22.9ha) 本郷排水区の追加 今津排水区の拡大		松永ポンプ場能力変更
第15回変更	2009年3月27日	国都下事 第487号	新浜処理区合流式下水道緊急 改善計画	新浜処理場敷地面積変更	中央雨水滞水池の追加
第16回変更	2012年3月19日	国水下事 第77-2号	松永処理区拡大(+36.4ha)		
第17回変更	2012年10月19日	下水第65号		脱水ケーキの固形燃料化を広 島県に事務委託	
第18回変更	2014年3月31日	下水第153号	新浜処理区 中央2号幹線の一部配置 (ルート)の変更及び中央2 号・中央5号幹線の能力変更		
第19回変更	2015年11月6日	下水第158号	新浜処理区を流域関連公共下 水道へ編入したことにより単 独公共下水道から削除	松永浄化センターの敷地面積 の変更 新浜処理場の削除	新浜処理区のポンプ施設 を削除
第20回変更	2018年2月27日	下水第240号	機織排水区の幹線断面変更 (機織1号雨水幹線)	松永浄化センター脱水機の機 種変更	松永ポンプ場(雨水)能 力変更
第21回変更	2020年3月25日	都環第397号			松永ポンプ場(雨水)の 用地拡大(+807㎡)

※ 2012年度(平成24年度)より事業認可制から協議制に移行。

イ 下水道法事業計画等(福山市流域関連)の経緯の概要

項 目	認可又は協議承認 年 月 日	告示番号又は 広島県文書番号	告 示 又 は 変 更 内 容	
			処理, 排水区域 変 更 等	ポ ン プ 施 設 変 更 等
流開当初	1978年8月1日	広島県指令下 第50号	芦田川処理区認可 処理区域 1,470ha	
第1回変更	1984年5月2日	広島県指令下 第2号	芦田川処理区拡大 処理区域 1,596ha	
第2回変更	1985年4月22日	広島県指令下 第35号	芦田川処理区拡大 処理区域 1,919ha 管径変更	
第3回変更	1986年9月4日	広島県指令下 第26号	芦田川処理区拡大 手城排水区再編成 処理区域 2,060ha	
第4回変更	1988年4月22日	広島県指令下 第1号	芦田川処理区拡大 処理区域 2,263ha	神島中継ポンプ場位置変更
第5回変更	1989年5月26日	広島県指令下 第33号	芦田川処理区拡大 処理区域 3,080ha	神島中継ポンプ場位置変更
第6回変更	1990年3月13日	広島県指令下 第35号	山手幹線変更	
第7回変更	1992年2月12日	広島県指令下 第60号	芦田川処理区拡大 新涯第1, 水呑分区再編成, ポンプ場追加 処理区域 3,309.5ha	
第8回変更	1993年5月25日	広島県指令公 第19号	芦田川処理区拡大 万能倉処理分区 処理区域 3,325.5ha	
第9回変更	1996年3月21日	広島県指令公 第138号	芦田川処理区拡大 新涯第2処理分区を新浜処理分区に合併 処理区域 4,150.0ha	鞆新涯幹線及び三新田中継ポンプ場の削 除, ポンプ場の追加
第10回変更	1997年3月21日	広島県指令公 第151号	山守排水区の森脇排水区との分割 処理区域 4,150.0ha	森脇ポンプ場の追加
第11回変更	1999年3月18日	広島県指令公 第158号	芦田川処理区拡大 水呑処理分区の分割 処理区域 4,380.0ha	大門中継ポンプ場位置変更
第12回変更	2002年3月28日	広島県指令公 第142号	芦田川処理区拡大 曙北, 曙南, 新涯北, 新涯南, 唐樋の5排水 区を新涯排水区に統合 処理区域 4,805.6ha	坪生中継ポンプ場及び新涯ポンプ場の追 加
第13回変更	2004年11月2日	広島県指令 下水第55号	芦田川処理区拡大 新市町との合併 処理区域 5,452.2ha	水呑中継ポンプ場, 瀬戸中継ポンプ場, 明王台第1中継ポンプ場及び明王台第2中 継ポンプ場の追加
第14回変更	2007年11月7日	広島県指令 下水第68号	芦田川処理区拡大 沼隈町・神辺町との合併 処理区域 6,593.0ha	
第15回変更	2009年3月19日	広島県指令 都整第201号	新市排水区の幹線変更 宮内雨水調整池の追加	大津野ポンプ場ポンプ台数変更
第16回変更	2012年3月22日	広島県指令 都環第104号	芦田川処理区拡大 処理区域 7,981.5ha	
第17回変更	2014年3月31日	下水第154号	中央2号幹線の一部配置(ルート)の変更及 び中央2号・中央5号幹線の能力変更	
第18回変更	2018年2月27日	下水第242号	芦田川処理区拡大 処理区域 8,001.3ha	一ツ樋ポンプ場(雨水)ポンプ台数, 能 力変更
第19回変更	2020年3月25日	都環第396号	予定排水区域の拡大 予定排水区域 7,011.5ha	新浜ポンプ場(雨水)のポンプ台数変 更, 用地拡大(+853㎡)
第20回変更	2021年3月12日	都環第436号	予定排水区域の変更 川南第2処理分区の幹線管渠の配置(ルー ト)の変更	蔵王ポンプ場(雨水)の追加

※ 2012年度(平成24年度)より事業認可制から協議制に移行。

(4) 計画事業費及び実績

(単位:百万円)

	管 渠	ポンプ場	処理場	総事業費
事 業 計 画	232,571	32,215	12,939	277,725
実績(2020年度末)	222,568	29,803	12,458	264,829
旧新浜処理区	25,055	6,777	2,613	34,445
松永処理区	26,604	5,832	9,845	42,281
芦田川処理区	170,909	17,194	-	188,103

※ 2014年度（平成26年度）より、旧新浜処理区は芦田川処理区へ編入したため、以降の旧新浜処理区の事業費は、芦田川処理区に含まれる。

2 施設の概要

(1) 管渠延長

(単位: m)

汚水管			雨水管	合計
合流管	分流通	計		
161,904	1,675,508	1,837,412	44,021	1,881,433

※ 2020年度（令和2年度）末の数値であり、未供用分を除く。

(2) 処理場施設

	松永浄化センター
所 在 地	福山市柳津町一丁目10番1号
敷 地 面 積	31,025 m ²
処 理 方 法	標準活性汚泥法
排 除 方 式	分流式
運 転 開 始	1992年4月
事 業 期 間	1976年度～2021年度
事 業 費	10,325 百万円

	計 画	実 績 (2020年度末)
処 理 人 口	22,600 人 (23,000人)	26,552 人
処 理 面 積	766 ha (798.5ha)	570.2 ha
処 理 能 力	11,000 m ³ /日 (11,200m ³ /日)	7,400 m ³ /日
流 入 水 質	BOD 190 mg/ℓ	BOD 241 mg/ℓ
	SS 160 mg/ℓ	SS 202 mg/ℓ
放 流 水 質	SS 16 mg/ℓ	SS 4 mg/ℓ
	COD 30 mg/ℓ [最大値]	COD 18.0 mg/ℓ [最大値]
	COD 20 mg/ℓ [平均値]	COD 14.2 mg/ℓ [平均値]
	T-N 25 mg/ℓ	T-N 24.2 mg/ℓ
	T-P 3 mg/ℓ	T-P 0.9 mg/ℓ

※ 流入水質及び放流水質は、2020年度（令和2年度）の数値である。

※ () 内は、全体計画の数値で尾道市流入分を含む。

(3) ポンプ場施設

ア ポンプ場の全体計画、事業計画及び整備状況

区分	処理区	ポンプ場名	排除方式	全体計画				事業計画（2021年度）				現況（2020年度末）			
				ポンプ口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内予備	揚水能力(m³/分)	ポンプ口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内予備	揚水能力(m³/分)	ポンプ口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内予備	揚水能力(m³/分)
汚水中継ポンプ場	芦田川	神島中継ポンプ場	分流	φ250 5.6	3	1	11.2	φ250 5.6	3	1	11.2	φ250 2.5 φ250 9.4	2 2	1	14.4
		大門中継ポンプ場	分流	φ200 5.5 φ200 4.1	1 2	1	9.6	φ200 5.5 φ200 4.1	1 2	1	9.6	φ200 5.5 φ300 10.5	1 1	1	5.5
		坪生中継ポンプ場	分流	φ150 2.0	3	1	4.0	φ150 2.0	3	1	4.0	φ150 2.8	2	1	2.8
		相方汚水中継ポンプ場	分流	φ100 1.0 φ150 1.3	1 2	1	2.3	φ100 1.0 φ150 1.3	1 2	1	2.3	φ100 1.0 φ150 1.3	— —		—
		瀬戸中継ポンプ場	分流	φ200 2.8	2	1	2.8	φ200 2.8	2	1	2.8	φ200 2.8	—		—
		明王台第1中継ポンプ場	分流	φ80 0.4	2	1	0.4	φ80 0.4	2	1	0.4	φ65 0.4	3	1	0.8
		明王台第2中継ポンプ場	分流	φ80 0.7	2	1	0.7	φ80 0.7	2	1	0.7	φ80 0.8	3	1	1.6
		木之庄中継ポンプ場	分流	φ150 2.4 φ200 4.8	2 1		9.6	φ150 2.4 φ200 4.8	2 1		9.6	φ150 2.4 φ200 4.8 φ200 5.0	2 1 1	1	9.6
	松永	本郷川中継ポンプ場	分流	φ100 1.1	3	1	2.2	φ100 1.1	3	1	2.2	φ100 1.1	2	1	1.1
雨水ポンプ場	芦田川	手城ポンプ場	分流	φ2,000 546.0	2		1,092.0	φ2,000 546.0	2		1,092.0	φ2,000 546.0	2		1,092.0
		松浜ポンプ場	分流	φ3,000 185.0	5		925.0	φ3,000 185.0	5		925.0	φ3,000 185.0	4		740.0
		一ツ樋ポンプ場 (※は将来廃止)	分流	φ1,200 255.0 φ1,500 395.0 φ500 36.0	2 1 1		941.0	φ1,200 255.0 φ1,500 395.0 φ500 36.0 ※ φ1,100 — ※ φ500 —	2 1 1 2 1		941.0	φ1,200 197.0 φ1,500 395.0 φ500 36.0 ※ φ1,100 160.0 ※ φ500 30.0	2 — — 2 1		744.0
		箕島ポンプ場	分流	φ1,100 165.0 φ1,000 126.0 φ300 10.2	2 1 1		466.2	φ1,100 165.0 φ1,000 126.0 φ300 10.2	2 1 1		466.2	φ1,100 165.0 φ1,000 126.0 φ300 10.2	— 1 1		136.2
	川	水呑ポンプ場	分流	φ1,800 438.0 φ1,350 242.0 φ450 25.0	3 1 1		1,581.0	φ1,800 438.0 φ1,350 242.0 φ450 25.0	3 1 1		1,581.0	φ1,800 438.0 φ1,350 242.0 φ450 25.0	3 1 1		1,581.0

区分	処理区	ポンプ場名	排除方式	全体計画				事業計画（2021年度）				現況（2020年度末）			
				ポンプ 口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内 予 備	揚水能力 (m³/分)	ポンプ 口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内 予 備	揚水能力 (m³/分)	ポンプ 口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内 予 備	揚水能力 (m³/分)
雨水ポンプ場	芦田川	大津野ポンプ場 (※は稼働しておらず将来廃止)	分流	φ 1,650 461.0 φ 1,650 325.0	2 2		1,572.0	φ 1,650 461.0 φ 1,650 325.0 ※ φ 1,000 - ※ φ 600 -	2 2 2 1		1,572.0	φ 1,650 461.0 φ 1,650 325.0 ※ φ 1,000 - ※ φ 600 -	1 2 2 1		1,111.0
		中津原ポンプ場	分流	φ 900 114.0	2		228.0	φ 900 114.0	2		228.0	φ 900 114.0	1		114.0
		千田ポンプ場	分流	φ 1,650 361.0	2		722.0	φ 1,650 361.0	2		722.0	φ 1,650 361.0	2		722.0
		森脇ポンプ場	分流	φ 1,200 200.0	3		600.0	φ 1,200 200.0	3		600.0	φ 1,200 200.0	—		—
		新涯ポンプ場	分流	φ 2,000 678.0 φ 1,800 456.0	2 1		1,812.0	φ 2,000 678.0 φ 1,800 456.0	2 1		1,812.0	φ 2,000 678.0 φ 1,800 456.0	2 1		1,812.0
		新市ポンプ場	分流	φ 1,200 192.0 φ 700 54.0	3 1		630.0	φ 1,200 192.0 φ 700 54.0	1 1		246.0	φ 1,200 192.0 φ 700 54.0	1 1		246.0
		戸手ポンプ場	分流	φ 1,200 204.0 φ 900 96.0	4 1		912.0	φ 1,200 204.0 φ 900 96.0	2 1		504.0	φ 1,200 204.0 φ 900 96.0	2 —		408.0
		千年ポンプ場	分流	φ 2,800 160.0	4		640.0	φ 2,800 160.0	2		320.0	φ 2,800 160.0	2		320.0
		大山ポンプ場	分流	φ 1,650 360.0	2		720.0	φ 1,650 360.0	2		720.0	φ 1,600 360.0	2		720.0
		中央ポンプ場	分流	φ 1,500 275.0 φ 2,000 600.0	1 3		2,075.0	φ 1,500 275.0 φ 2,000 600.0	1 3		2,075.0	φ 1,500 275.0 φ 2,000 600.0	1 1		875.0
		新浜ポンプ場 (※1 新浜浄化センター閉鎖に伴い 汚水ポンプは稼働停止) (※2 新浜ポンプ場更新時に撤去)	汚水				—	※1 φ 400 — ※1 φ 400 —	5 3		—	※1 φ 400 — ※1 φ 400 —	5 3		—
			雨水	φ 600 62.0 φ 1,200 215.0	2 2		554.0	φ 600 62.0 φ 1,200 215.0 ※2 φ 900 — ※2 φ 1,000 —	2 2 1 4		554.0	φ 600 62.0 φ 1,200 215.0 ※2 φ 900 93.0 ※2 φ 1,000 115.0	— — 1 4		553.0
			分流	φ 700 75.0 φ 1,650 451.0	2 2		1,052.0	φ 700 75.0 φ 1,650 451.0	2 2		1,052.0	φ 700 75.0 φ 1,650 451.0	— —		—
		蔵王ポンプ場	分流												
	松永	柳津ポンプ場	分流	φ 1,100 176.0	2		352.0	φ 1,100 176.0	2		352.0	φ 1,100 176.0	2		352.0
		松永ポンプ場 (※は更新時増強)	分流	φ 1,000 185.0 φ 1,200 255.0 φ 800 80.0	2 3 1		1,215.0	φ 1,000 185.0 φ 1,200 255.0 φ 800 80.0	2 3 1		1,215.0	※ φ 1,000 185.0 ※ φ 1,200 200.0 φ 800 80.0	— 3 1		680.0
		機織ポンプ場	分流	φ 1,350 204.0 φ 900 96.0 φ 500 24.0	2 1 1		528.0	φ 1,350 204.0 φ 900 96.0 φ 500 24.0	2 1 1		528.0	φ 1,350 204.0 φ 900 96.0 φ 500 24.0	2 — 1		432.0
		相生ポンプ場	分流	φ 1,300 27.0	2		54.0	φ 1,300 27.0	2		54.0	φ 1,300 27.0	2		54.0

イ 汚水中継ポンプ場

			(合 流) 流域関連	(分 流) 単独公共	(分 流) 流域関連		
名 称			新浜ポンプ場	本郷川中継ポンプ場	神島中継ポンプ場	大門中継ポンプ場	坪生中継ポンプ場
所 在 地			松浜町三丁目	南今津町	山手町五丁目	大門町五丁目	坪生町四丁目
運 転 開 始 年 月			1959年6月	2003年4月	1990年8月	2001年4月	2006年4月
事 業 計 画 ※1 敷地面積 (a)			16.5	4.2	4.6	8.8	3.0
計 画 流 入 汚 水 量	時間最大 (m³/日)		258,336	2,678	15,958	5,834	5,749
計画処理面積 (ha)			806 (104ha：合流雨水)	117.4	631.3	363.8	180
現 況 ポ ン プ 能 力	汚 水	口径 (mm)	※2 φ 400 ※2 φ 400	φ 100	φ 250 φ 250	φ 200 φ 300	φ 150
		能 力	－ －	1.1 m³/分	2.5 m³/分 9.4 m³/分	5.5 m³/分 10.5 m³/分	2.8 m³/分
		kW	－ －	11 kW	22 kW 37 kW	55 kW 75 kW	30 kW
		2020年度末台数	5 3	2	2 2	1 1	2
	雨 水	口径 (mm)	φ 900 φ 1,000				
		能力	93.0 m³/分 115.0 m³/分				
		PS					
		2020年度末台数	1 4				
脱 臭 方 式			土壌法	土壌法	土壌法	土壌法	土壌法

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積

※2 新浜浄化センター閉鎖に伴い汚水ポンプは稼働停止

			(分 流) 流域関連				
名 称			相方汚水中継ポンプ場	瀬戸中継ポンプ場	明王台第 1 中継ポンプ場	明王台第 2 中継ポンプ場	木之庄中継ポンプ場
所 在 地			新市町大字相方	瀬戸町字目貫堂	明王台二丁目	明王台四丁目	西町三丁目
運 転 開 始 年 月			-	-	1986年12月	1986年12月	1973年4月
事 業 計 画 ※1 敷地面積 (a)			5. 2	8. 3	1. 7	2. 4	2. 5
計 画 流 入 汚 水 量	時間最大 (m³/日)		1, 756	3, 958	542	881	13, 824
計画処理面積 (ha)			48. 4	197. 8	14. 4	23. 4	70
現 況 ポ ン プ 能 力	汚 水	口径 (mm)	-	-	φ 65	φ 80	φ 150 φ 200 φ 200
		能 力	-	-	0. 4 m³/分	0. 8 m³/分	2. 4 m³/分 4. 8 m³/分 5. 0 m³/分
		kW	-	-	7. 5 kW	18. 5 kW	7. 5 kW 11 kW 11 kW
		2020年度末台数	0	0	3	3	2 1 1
	雨 水	口径 (mm)					
		能力					
		PS					
		2020年度末台数					
脱 臭 方 式			-	-	-	-	-

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積

ウ 雨水ポンプ場

名 称		中央ポンプ場	大山ポンプ場	手城ポンプ場	松浜ポンプ場	一ツ樋ポンプ場
所 在 地		東川口町一丁目	入船町三丁目	東手城町二丁目	松浜町三丁目	東川口町一丁目
供 用 開 始 年 月		2011年4月	1973年4月	1988年11月	1983年4月	1968年4月
事 業 計 画 ※1 敷地面積 (a)		80.0	30.0	14.4	13.7	28.3
集 水 面 積 (ha)		474	482	231	167	230
現況排水量 ($\text{m}^3/\text{分}$) ()は全体計画		875.0 (2075.0)	720.0 (720.0)	1092.0 (1092.0)	740.0 (925.0)	744.0 (941.0)
現 況 ポ ン プ 能 力	口 径 (mm)	$\phi 1,500$ $\phi 2,000$	$\phi 1,600$	$\phi 2,000$	$\phi 3,000$	$\phi 1,200$ ※2 $\phi 1,100$ ※2 $\phi 500$
	揚 水 能 力 ($\text{m}^3/\text{分}$)	275.0 600.0	360.0	546.0	185.0	197.0 ※2 160.0 ※2 30.0
	型 式	立軸斜流ポンプ	立軸軸流ポンプ	立軸斜流ポンプ	スクリーポンプ	立軸斜流ポンプ 横軸軸流ポンプ
	動 力	ガスタービン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動 モーター駆動
	2020年度末 台数	1 1	2	2	4	2 2 1
放流先		福山港	福山港	福山港	福山港	福山港

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積

※2 将来廃止

名 称		箕島ポンプ場	水呑ポンプ場	大津野ポンプ場	中津原ポンプ場	千田ポンプ場
所 在 地		箕島町字飛地	水呑町字南新田	大門町五丁目	御幸町大字中津原	御幸町字坂田渡
供 用 開 始 年 月		1967年4月	1975年4月	1985年11月	2008年9月	1990年3月
事 業 計 画 ※1 敷地面積 (a)		13.9	46.7	188.5	7.1	16.8
集 水 面 積 (ha)		81	506	525	36	520
現況排水量 ($\text{m}^3/\text{分}$) ()は全体計画		136.2 (466.2)	1581.0 (1581.0)	1111.0 (1572.0)	114.0 (228.0)	722.0 (722.0)
現 況 ポ ン プ 能 力	口 径 (mm)	$\phi 1,000$ $\phi 300$	$\phi 1,800$ $\phi 1,350$ $\phi 450$	$\phi 1,650$ $\phi 1,650$ ※2 $\phi 1,000$ ※2 $\phi 600$	$\phi 900$	$\phi 1,650$
	揚 水 能 力 ($\text{m}^3/\text{分}$)	126.0 10.2	438.0 242.0 25.0	461.0 325.0 － －	114.0	361.0
	型 式	立軸軸流ポンプ 水中ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ
	動 力	モーター駆動	ディーゼルエンジン駆動 モーター駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動
	2020年度末 台数	1 1	3 1 1	1 2 2 1	1	2
放流先		福山港	水呑川	福山港	高屋川	高屋川

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積

※2 稼働しておらず将来廃止

名 称		森脇ポンプ場	新涯ポンプ場	新市ポンプ場	戸手ポンプ場	千年ポンプ場
所 在 地		御幸町大字森脇	新涯町四丁目	新市町大字新市	新市町大字戸手	沼隈町草深
供 用 開 始 年 月		-	1985年4月	1993年5月	1987年4月	1977年4月
事 業 計 画 ※1 敷地面積 (a)		17.0	13.0	35.8	41.8	22.4
集 水 面 積 (ha)		138	479	105	198	135
現況排水量 ($\text{m}^3/\text{分}$) ()は全体計画		0.0 (600.0)	1812.0 (1812.0)	246.0 (630.0)	408.0 (912.0)	320.0 (640.0)
現 況 ポ ン プ 能 力	口 径 (mm)	-	$\phi 2,000$ $\phi 1,800$	$\phi 1,200$ $\phi 700$	$\phi 1,200$	$\phi 2,800$
	揚 水 能 力 ($\text{m}^3/\text{分}$)	-	678.0 456.0	192.0 54.0	204.0	160.0
	型 式	-	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	スクリーンプンプ
	動 力	-	ガスタービン駆動 ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動
	2020年度末 台数	0	2 1	1 1	2	2
放流先		芦田川	福山港	芦田川	芦田川	千年港

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積

名 称		蔵王ポンプ場	柳津ポンプ場	松永ポンプ場	機織ポンプ場	相生ポンプ場
所 在 地		明神町二丁目	柳津町三丁目	松永町五丁目	南松永町三丁目	柳津町一丁目
供 用 開 始 年 月		-	1994年3月	1977年10月	2002年4月	1989年6月
事 業 計 画 ※1 敷地面積 (a)		48.3	13.4	14.9	19.3	1.8
集 水 面 積 (ha)		213	68	238	108	8
現況排水量 ($\text{m}^3/\text{分}$) ()は全体計画		0.0 (1052.0)	352.0 (352.0)	680.0 (1215.0)	432.0 (528.0)	54.0 (54.0)
現 況 ポ ン プ 能 力	口 径 (mm)	-	$\phi 1,100$	※2 $\phi 1,200$ $\phi 800$	$\phi 1,350$ $\phi 500$	$\phi 1,300$
	揚 水 能 力 ($\text{m}^3/\text{分}$)	-	176.0	200.0 80.0	204.0 24.0	27.0
	型 式	-	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	スクリーポンプ
	動 力	-	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動 モーター駆動	ガスタービン駆動 モーター駆動	モーター駆動
	2020年度末 台数	0	2	3 1	2 1	2
放流先		手城川	松永湾	松永湾	松永湾	松永湾

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積

※2 更新時増強

(4) 汚水関連施設一覧

2021年(令和3年)4月1日現在

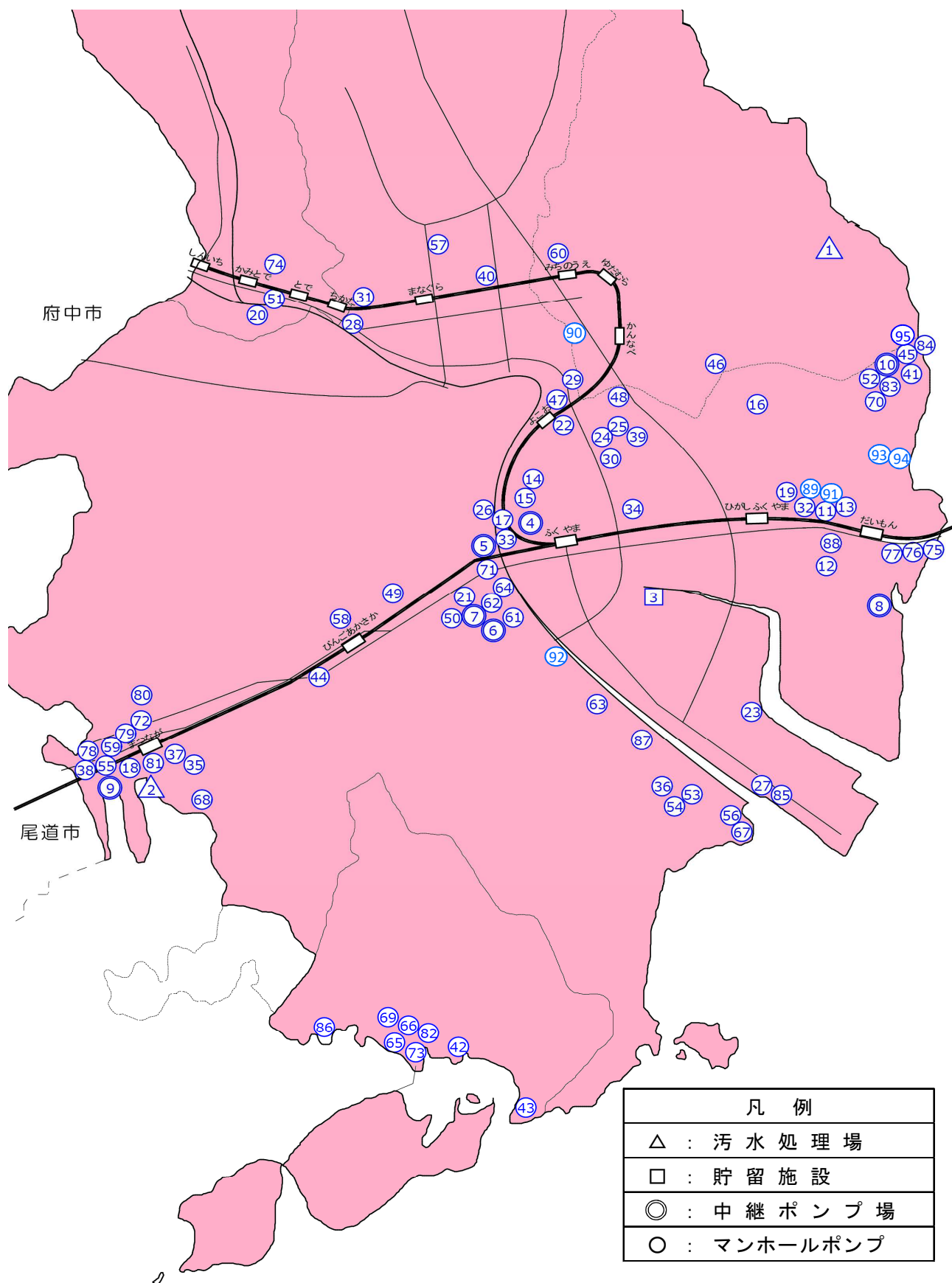
	施設名	住 所	供用開始年月
(汚水処理場)			
1	神辺工業団地汚水処理施設	神辺町旭丘20番地	1991年4月
2	松永浄化センター	柳津町一丁目10番1号	1992年4月
(貯留施設)			
3	中央雨水滞水池	東川口町一丁目1番1号	2014年4月
(中継ポンプ場)			
4	木之庄中継ポンプ場	西町三丁目27番3号	1971年8月
5	神島中継ポンプ場	山手町五丁目35番8号	1990年9月
6	明王台第1中継ポンプ場	明王台二丁目17番3号	1996年4月
7	明王台第2中継ポンプ場	明王台四丁目12番17号	1996年4月
8	大門中継ポンプ場	大門町五丁目5番50号	2001年4月
9	本郷川中継ポンプ場	南今津町162番地	2003年4月
10	坪生中継ポンプ場	坪生町四丁目3番45号	2006年4月
(マンホールポンプ)			
11	伊勢丘第1ポンプ場	伊勢丘四丁目 8 番	1966年度
12	明見ポンプ場	引野町南一丁目11番1号	1974年度
13	鳳第3ポンプ場	伊勢丘八丁目5番	1976年度
14	城北第1ポンプ場	久松台二丁目34番	1978年6月
15	城北第2ポンプ場	久松台二丁目地内	1978年6月
16	宇山ポンプ場	春日町宇山127	1990年5月
17	北本庄マンホールポンプ	北本庄五丁目地内	1995年4月
18	今津島マンホールポンプ	松永町三丁目地内	1995年7月
19	引野北マンホールポンプ	引野町北三丁目地内	1995年12月
20	相方マンホールポンプ	新市町大字相方258-2	1996年4月
21	明王台補助ポンプ場	明王台四丁目13番	1996年4月
22	横尾駅前マンホールポンプ	横尾町一丁目地内	1998年7月
23	福山港南マンホールポンプ	新涯町二丁目地内	1998年7月
24	千田北第1マンホールポンプ	千田町三丁目地内	1999年9月
25	千田北第2マンホールポンプ	千田町三丁目地内	1999年9月
26	山手マンホールポンプ	山手町七丁目地内	1999年9月
27	箕島第1マンホールポンプ	箕島町地内	2000年12月
28	駅家近田マンホールポンプ	駅家町地内	2001年4月
29	御幸マンホールポンプ	御幸町地内	2001年4月
30	千田南第1マンホールポンプ	千田町二丁目地内	2001年4月
31	駅家中島マンホールポンプ	駅家町地内	2002年4月
32	引野北五丁目マンホールポンプ	引野町北五丁目地内	2002年4月
33	北本庄第2マンホールポンプ	北本庄三丁目地内	2003年8月
34	西深津マンホールポンプ	西深津町五丁目地内	2004年3月

	施 設 名	住 所	供用開始年月
(マンホールポンプ)			
35	神村第1マンホールポンプ	神村町地内	2004年4月
36	水呑向丘第1マンホールポンプ	水呑向丘地内	2004年12月
37	松永町四丁目マンホールポンプ	松永町四丁目地内	2005年4月
38	高西町二丁目マンホールポンプ	高西町二丁目地内	2005年4月
39	千田南第2マンホールポンプ	千田町二丁目地内	2006年2月
40	駅家万能倉マンホールポンプ	駅家町地内	2006年4月
41	坪生第1マンホールポンプ	坪生町四丁目地内	2006年4月
42	沼隈草深第1マンホールポンプ	沼隈町地内	2006年4月
43	沼隈明神マンホールポンプ	沼隈町地内	2006年4月
44	神村第2マンホールポンプ	神村町地内	2006年4月
45	坪生第3マンホールポンプ	坪生町五丁目地内	2007年4月
46	神辺第1マンホールポンプ	神辺町地内	2008年4月
47	御幸第1マンホールポンプ	御幸町地内	2008年4月
48	千田北第3マンホールポンプ	千田町四丁目地内	2008年4月
49	津之郷第1マンホールポンプ	津之郷町地内	2008年4月
50	瀬戸第1マンホールポンプ	瀬戸町大字長和252番地の2	2008年4月
51	戸手第1マンホールポンプ	新市町地内	2008年5月
52	坪生第4マンホールポンプ	坪生町一丁目地内	2009年4月
53	水呑第1マンホールポンプ	水呑町地内	2009年4月
54	水呑第2マンホールポンプ	水呑町地内	2009年8月
55	今津第1マンホールポンプ	今津町地内	2010年6月
56	竹ヶ端第1マンホールポンプ	水呑町地内	2010年7月
57	加茂第1マンホールポンプ	加茂町地内	2011年4月
58	赤坂第1マンホールポンプ	赤坂町地内	2011年4月
59	今津第2マンホールポンプ	今津町地内	2011年4月
60	神辺第2マンホールポンプ	神辺町地内	2012年3月
61	明王台第1マンホールポンプ	明王台三丁目地内	2012年3月
62	明王台第2マンホールポンプ	明王台一丁目地内	2012年3月
63	水呑第3マンホールポンプ	水呑町地内	2012年3月
64	明王台第3マンホールポンプ	明王台一丁目地内	2013年3月
65	沼隈常石第3マンホールポンプ	沼隈町地内	2013年3月
66	沼隈常石第5マンホールポンプ	沼隈町地内	2013年3月
67	竹ヶ端第2マンホールポンプ	水呑町地内	2013年4月
68	柳津マンホールポンプ	柳津町地内	2013年4月
69	沼隈常石第4マンホールポンプ	沼隈町地内	2013年5月
70	坪生第5マンホールポンプ	坪生町南二丁目地内	2014年3月
71	神島マンホールポンプ	神島町地内	2014年3月

	施 設 名	住 所	供用開始年月
(マンホールポンプ)			
72	今津第4マンホールポンプ	今津町地内	2014年3月
73	沼隈常石第9マンホールポンプ	沼隈町地内	2014年6月
74	戸手第2マンホールポンプ	新市町地内	2015年3月
75	大門第1マンホールポンプ	大門町地内	2015年3月
76	大門第2マンホールポンプ	大門町地内	2015年3月
77	大門第3マンホールポンプ	大門町旭地内	2015年3月
78	高西町一丁目マンホールポンプ	高西町一丁目地内	2015年3月
79	今津第3マンホールポンプ	今津町地内	2015年3月
80	今津北マンホールポンプ	今津町地内	2015年3月
81	松永町三丁目マンホールポンプ	松永町三丁目地内	2015年3月
82	沼隈常石第6マンホールポンプ	沼隈町地内	2015年5月
83	坪生第6マンホールポンプ	坪生町一丁目地内	2015年6月
84	坪生第7マンホールポンプ	坪生町六丁目地内	2016年3月
85	箕島第2マンホールポンプ	箕島町地内	2016年3月
86	沼隈常石第2マンホールポンプ	沼隈町地内	2016年3月
87	水呑第4マンホールポンプ	水呑町地内	2017年12月
88	引野マンホールポンプ	引野町地内	2018年3月
89	伊勢丘第2マンホールポンプ	伊勢丘四丁目及び伊勢丘二丁目地内	2019年10月
90	食肉センターマンホールポンプ	御幸町地内	2019年11月
91	伊勢丘第1マンホールポンプ	伊勢丘四丁目地内	2020年4月
92	草戸第1マンホールポンプ	草戸町地内	2020年4月
93	坪生第10マンホールポンプ	坪生町南三丁目地内	2020年4月
94	坪生第11マンホールポンプ	坪生町南三丁目地内	2020年4月
95	坪生第8マンホールポンプ	坪生町及び坪生町六丁目地内	2020年8月

(5) 汚水関連施設位置図

2021年（令和3年）4月1日現在



各番号は、「(4) 汚水関連施設一覧」の番号の施設と一致する。

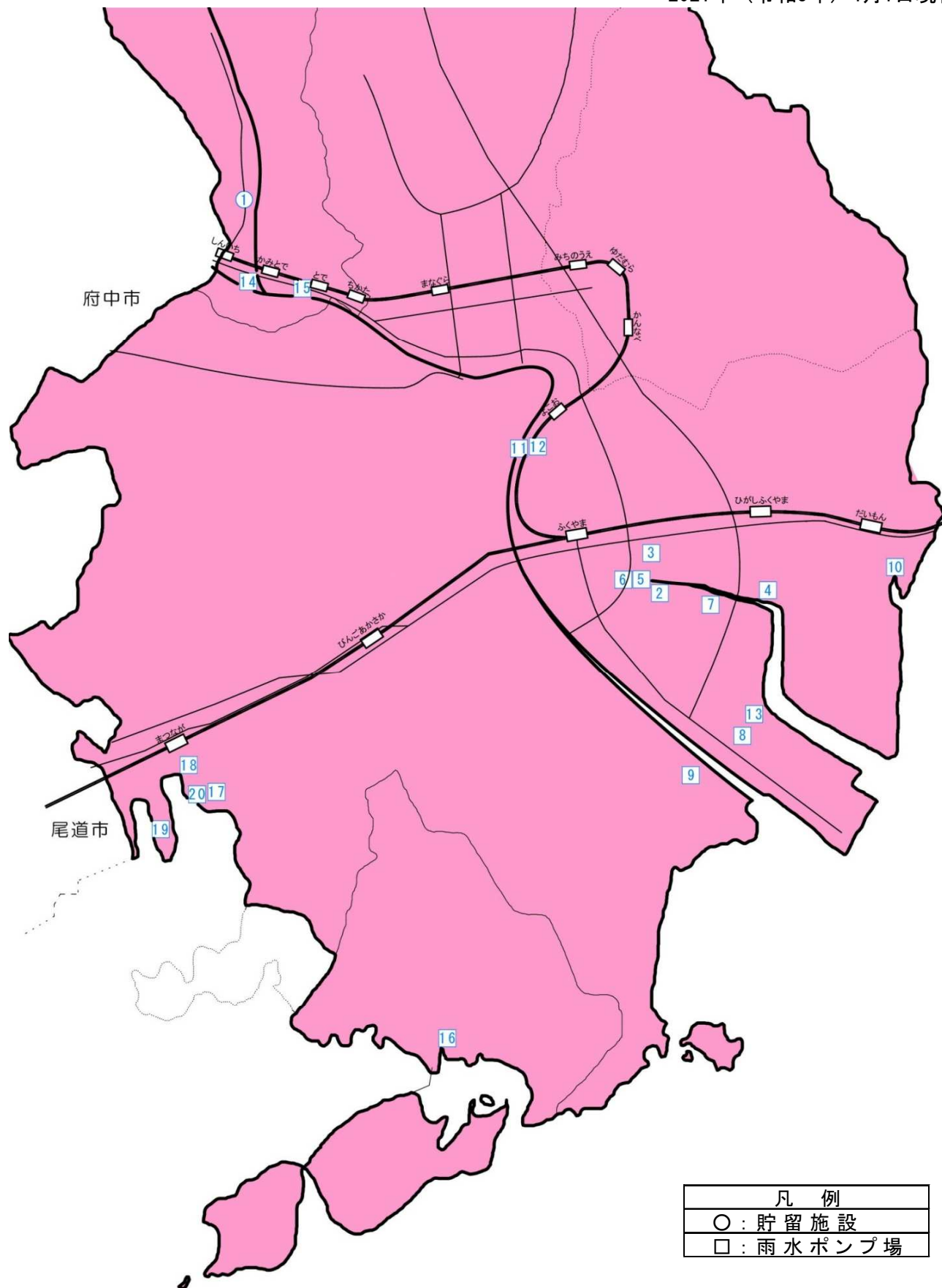
(6) 雨水関連施設一覧

2021年(令和3年)4月1日現在

	施 設 名	所 在 地	供用開始年月
(貯留施設)			
1	宮内調整池	新市町大字新市地内	2011年4月
(雨水ポンプ場)			
2	中央ポンプ場	東川口町一丁目1番1号	2011年4月
3	大山ポンプ場	入船町三丁目4番13号	1973年4月
4	手城ポンプ場	東手城町二丁目16番2号	1988年11月
5	松浜ポンプ場	松浜町三丁目1番52号	1983年4月
6	新浜ポンプ場	松浜町三丁目1番59号	1959年6月
7	一ツ樋ポンプ場	東川口町一丁目5番2号	1968年4月
8	箕島ポンプ場	箕島町字飛地5816-150	1967年4月
9	水呑ポンプ場	水呑町字南新田十丁目地内	1975年4月
10	大津野ポンプ場	大門町五丁目13番40号	1985年11月
11	中津原ポンプ場	御幸町大字中津原47番地	2008年9月
12	千田ポンプ場	御幸町字坂田渡158-2	1990年3月
13	新涯ポンプ場	新涯町四丁目18番23号	1985年4月
14	新市ポンプ場	新市町大字新市291番地	1993年5月
15	戸手ポンプ場	新市町大字戸手1017-1	1987年4月
16	千年ポンプ場	沼隈町草深地内	1977年4月
17	柳津ポンプ場	柳津町三丁目1番55号	1994年3月
18	松永ポンプ場	松永町五丁目4番15号	1977年10月
19	機織ポンプ場	南松永町三丁目6番40号	2002年4月
20	相生ポンプ場	柳津町一丁目10番1号	1989年6月

(7) 雨水関連施設位置図

2021年（令和3年）4月1日現在



各番号は「(6)雨水関連施設一覧」の番号の施設と一致する。

3 業 務

(1) 流入水量

(単位：m³)

年度	福 山 市 公共下水道 計 ①+②	芦田川浄化センター				松永浄化 センター ②
		福 山 市 公共下水道 ①	服部地区 農業集落 排水施設	府中市	計	
2016	41,456,631	39,127,613	104,618	786,649	40,018,880	2,329,018
2017	41,461,084	39,164,846	107,775	800,459	40,073,080	2,296,238
2018	41,439,136	39,051,243	108,953	804,944	39,965,140	2,387,893
2019	39,361,810	36,932,972	106,539	779,149	37,818,660	2,428,838
2020	41,431,764	38,984,488	103,358	804,794	39,892,640	2,447,276
4月	3,389,494	3,187,230	8,789	67,291	3,263,310	202,264
5月	3,236,301	3,035,166	9,128	65,606	3,109,900	201,135
6月	3,441,512	3,239,250	8,647	67,843	3,315,740	202,262
7月	4,136,251	3,915,400	9,225	83,615	4,008,240	220,851
8月	3,436,158	3,234,427	9,119	69,344	3,312,890	201,731
9月	3,550,599	3,355,816	8,361	63,693	3,427,870	194,783
10月	3,809,010	3,601,163	8,593	66,864	3,676,620	207,847
11月	3,508,377	3,307,967	8,146	63,577	3,379,690	200,410
12月	3,333,965	3,124,730	8,481	65,989	3,199,200	209,235
1月	3,351,245	3,140,738	8,918	66,094	3,215,750	210,507
2月	2,972,637	2,783,441	7,594	59,465	2,850,500	189,196
3月	3,266,215	3,059,160	8,357	65,413	3,132,930	207,055
月平均	3,452,647	3,248,707	8,613	67,066	3,324,387	203,940
日平均	113,512	106,807	283	2,205	109,295	6,705
日最大	206,820	196,752	353	4,325	201,430	10,068

晴天時処理水量

日最大	150,801	143,677	292	3,271	147,240	7,124
		7月15日				1月10日
日平均	110,581	103,922	282	2,168	106,372	6,659

雨天時処理水量

日最大	206,820	196,752	353	4,325	201,430	10,068
		7月14日				7月14日
日平均	123,697	116,921	286	2,335	119,542	6,776

(2) 建設改良工事の概況（1件3千万円以上の工事）

ア 公共施設整備事業

工事名	工事費（円）	工事場所	施 行 内 容
松永浄化センター管理棟中央監視装置電気設備工事	196,109,100	柳津町一丁目	中央監視装置取替工 一式
機織排水区雨水貯留施設築造工事（その2）	141,869,396	松永町二丁目	雨水貯留施設築造工 一式
松永ポンプ場耐震化工事	70,192,100	松永町五丁目	ポンプ場耐震化工事 一式
下水道施設長寿命化工事（2-1）	56,216,600	霞町四丁目外5か町	管きょ更生工 口径600mm 延長135.0m, 口径500mm 延長97.0m, 口径450mm 延長53.8m, 口径350mm 延長28.2m, 口径250mm 延長59.0m, マンホール管口耐震化工 口径600mm 4箇所, 口径500mm 5箇所, 口径450mm 2箇所, 口径350mm 2箇所, 口径250mm 3箇所, 取付管口補強工 75箇所
下水道管渠耐震化工事（2-1）	52,636,100	明治町外2か町	管きょ更生工 口径800mm 延長171.5m, 口径450mm 延長121.7m, マンホール管口耐震化工 口径800mm 6箇所, 口径450mm 6箇所, 取付管口補強工 20箇所
下水道施設長寿命化工事（2-2）	51,723,100	昭和町外2か町	管きょ更生工 口径350mm 延長213.3m, 口径300mm 延長195.0m, マンホール管口耐震化工 口径350mm 9箇所, 口径300mm 11箇所, 取付管口補強工 98箇所
小口径管推進工事（都市2-9）	50,402,000	神辺町	管渠工（推進） 口径250mm 延長104.4m, 管渠工（開削） 口径200mm 延長3.9m, 円形1号マンホール 1箇所, 円形2号マンホール 2箇所, 立坑工 3箇所, 付帯工 一式
小口径管推進工事（下水2-2）	46,900,000	鞆町鞆	管渠工（推進） 口径250mm 延長208.6m, 円形2号マンホール 2箇所, 塩ビ製小型マンホール工 1箇所, 取付管工（推進） 6箇所, 立坑工 3箇所, 付帯工 一式
下水道施設長寿命化工事（2-5）	44,966,900	西町一丁目外2か町	管きょ更生工 口径600mm 延長72.5m, 口径450mm 延長82.6m, 口径400mm 延長35.8m, 口径350mm 延長88.1m, 口径300mm 延長27.3m, マンホール管口耐震化工 口径600mm 3箇所, 口径450mm 4箇所, 口径400mm 2箇所, 口径350mm 6箇所, 口径300mm 2箇所, 取付管口補強工 38箇所
松永2号雨水枝線築造工事（2工区）	41,492,000	宮前町一丁目及び宮前町二丁目	函渠工 幅900mm×高さ800mm 延長51.1m
水呑ポンプ場上家耐震化工事（その2）	33,755,700	水呑町	上家耐震化工事 一式

イ 単独施設整備事業

工事名	工事費（円）	工事場所	施 行 内 容
下水道施設改築工事（2-3）	46,630,100	箕沖町	管渠工（推進） 口径600mm 延長20.9m, 円形2号マンホール工 1箇所, マンホール床版取替工 2箇所, 立坑工 1箇所, 管渠閉塞工 一式, 付帯工 一式

(3) 保存工事の概況（1件5百万円以上の工事）

工事名	工事費（円）	工事場所	施 行 内 容
手城ポンプ場遊水池整備工事（その2）	80,059,100	東手城町二丁目	工事面積 2,850㎡, 土工 一式, 地盤改良工 5,900㎡
松永ポンプ場沈砂池耐震化工事	12,855,700	松永町五丁目	躯体補修工 一式
下水道管渠仮設工事（福山駅箕沖幹線外1路線）	8,695,500	箕沖町	下水道管渠仮設工 1箇所
松永ポンプ場上家補修工事	7,572,400	松永町五丁目	上家補修 一式

(4) 特定事業場数等と立入調査・指導状況

ア 特定事業場数

区 分 \ 年 度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
旧新浜処理区	59	58	59	60	60
松永処理区	14	14	14	14	15
芦田川処理区	171	170	173	177	177
計	244	242	246	251	252

※ 下水道法に基づき、水質基準の順守が特に義務付けられている事業場の数。

イ 規制対象事業場数

区 分 \ 年 度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
旧新浜処理区	1	1	3	3	3
松永処理区	3	3	3	3	2
芦田川処理区	10	11	11	13	11
計	14	15	17	19	16

※ 福山市下水道条例に基づき、除害施設の設置が義務付けられている事業場の数。

ウ 立入事業場数

区 分 \ 年 度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
旧新浜処理区	13	15	14	19	19
松永処理区	3	2	3	3	5
芦田川処理区	34	56	60	57	58
計	50	73	77	79	82

エ 延べ立入調査回数

区 分 \ 年 度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
旧新浜処理区	26	34	34	36	38
松永処理区	6	6	7	7	10
芦田川処理区	67	123	137	145	141
計	99	163	178	188	189

オ 行政指導処分数

区 分 \ 年 度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
行政指導	18	30	22	29	31
口頭指導	1	11	5	8	2
注意指導	13	13	11	11	23
改善勧告	4	6	6	10	6
行政処分	-	-	-	-	-
改善命令	-	-	-	-	-
一時停止命令	-	-	-	-	-
計	18	30	22	29	31

4 松永浄化センター

(1) 計画・運転概要

項 目 \ 年度別		全体計画	事業計画	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
運 転 開 始		1992年(平成4年) 4月1日						
処 理 区 域 面 積 (h a)		798.5	639.3	559	560	566	567	570
処 理 区 域 人 口 (人)		23,000	22,010	26,297	26,684	26,425	26,510	26,552
処 理 能 力 (m ³ /日)		11,200	11,000	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400
流 入 水 量 (m ³ /年)				2,329,018	2,296,238	2,387,893	2,428,838	2,447,276
日 最 大 (m ³ /日)				8,813	8,708	17,017	8,173	10,068
日 平 均 (m ³ /日)				6,381	6,291	6,541	6,636	6,705
晴 天 日 最 大 (m ³ /日)				6,686	6,663	6,918	7,047	7,124
揚 水 量 (m ³ /年)				2,364,360	2,389,780	2,441,370	2,477,630	2,500,130
再 利 用 水 量 (m ³ /年)				73,402	72,959	81,424	68,589	46,679
初 沈 汚 泥 引 抜 量 (m ³ /年)				62,182	62,947	53,041	48,311	57,060
余 剰 汚 泥 引 抜 量 (m ³ /年)				69,166	67,450	58,744	64,083	66,820
脱 水 汚 泥 供 給 量 (m ³ /年)				24,751	24,231	26,919	29,317	27,760
脱 水 ケ ー キ 量 (t/年)				2,237	2,233	2,373	2,310	2,130
脱 水 ケ ー キ 含 水 率 (%)				76	75	76	76	74
高 分 子 凝 集 剤 使 用 量 (kg/年)				6,000	6,600	6,750	7,650	8,550
次 亜 塩 素 酸 ナ ト リ ウ ム 使 用 量 (L/年)				32,027	29,614	30,010	35,670	33,160
反 応 槽	M L S S (mg/L)	1,500~2,000	1,500~2,000	1,891	1,880	1,862	1,980	2,056
	M L V S S / M L S S 比 (%)			78.5	79.5	79.1	76.6	75.0
	B O D - S S 負 荷 (kg/SSkg・日)			0.204	0.176	0.158	0.162	0.171
	D O (mg/L)			0.5	0.4	0.5	0.6	0.6
	送 気 倍 率 (倍)			7.4	7.4	7.5	8.4	8.1
	返 送 率 (%)	50~100	50~100	52	53	52	51	50

(2) 運転管理状況

区 分 \ 年度別	流入水量 (放流) (m ³)				脱水汚泥 (t)				
	総水量	日平均	日最大	日最小	総 量	稼働日 (日)	日平均	含水率 (%)	搬出量
2016	2,329,018	6,381	8,813	5,477	2,182.31	339	6.50	75.8	2,236.88
2017	2,296,238	6,291	8,708	5,281	2,174.97	312	6.99	75.4	2,232.76
2018	2,387,893	6,541	17,017	5,732	2,322.30	312	7.52	76.2	2,373.42
2019	2,428,838	6,636	8,173	5,985	2,254.83	323	6.96	75.9	2,309.85
2020	2,447,276	6,705	10,068	6,113	2,086.00	364	5.73	74.4	2,129.93
4月	202,264	6,742	8,534	6,316	177.21	30	5.91	74.4	179.64
5月	201,135	6,488	6,938	6,164	170.01	31	5.48	73.2	172.74
6月	202,262	6,742	7,923	6,406	163.04	30	5.43	73.4	169.73
7月	220,851	7,124	10,068	6,247	166.96	31	5.39	73.5	170.28
8月	201,731	6,507	6,889	6,113	153.54	31	4.95	73.6	155.60
9月	194,783	6,493	7,410	6,144	147.22	30	4.91	73.0	151.08
10月	207,847	6,705	7,772	6,322	171.75	31	5.54	75.0	177.66
11月	200,410	6,680	6,966	6,247	180.00	30	6.00	75.9	179.75
12月	209,235	6,750	6,970	6,510	195.17	31	6.30	75.9	199.53
1月	210,507	6,791	7,239	6,219	204.22	31	6.59	75.2	207.11
2月	189,196	6,757	7,009	6,500	164.13	27	6.08	74.3	167.70
3月	207,055	6,679	7,151	6,187	192.75	31	6.22	74.8	199.11

(3) 法定検査結果

ア 流入水

		m / n	年平均値	最大値	最小値
流 入 水 量 (m3/日)		-/24	6,767	7,749	6,405
一 般 項 目	気 温 (°C)	-/24	14.7	31.5	2.0
	水 温 (°C)	-/24	22.1	28.6	16.7
	透 視 度 (度)	-/24	5	6	5
	p H	-/24	7.4	7.7	7.2
	浮 遊 物 質 量 (mg/L)	-/24	202	276	139
	B O D (mg/L)	-/24	241	300	180
	C O D (mg/L)	-/24	131	177	105
	全 窒 素 (mg/L)	-/24	34.2	41.5	25.1
	ア ン モ ニ ア 性 窒 素 (mg/L)	-/24	21.7	28.2	16.7
	亜 硝 酸 性 窒 素 (mg/L)	-/24	0.1	0.9	ND
	硝 酸 性 窒 素 (mg/L)	-/24	0.5	2.5	ND
	有 機 性 窒 素 (mg/L)	-/24	11.8	21.6	0.4
	全 り ん (mg/L)	-/24	5.0	6.3	4.4
	り ん 酸 態 り ん (mg/L)	-/24	2.4	3.9	1.7
	n - ヘ キ サ ン 抽 出 物 質 (mg/L)	-/24	26	34	20
	よ う 素 消 費 量 (mg/L)	-/24	14.7	33.4	2.8
	塩 素 イ オ ン (mg/L)	-/24	80.0	97.3	68.2
	大 腸 菌 群 数 (個/cm3)	-/24	62,000	138,000	11,000
健 康 項 目	カ ド ミ ウ ム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	シ ア ン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	有 機 り ん (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	鉛 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	六 価 ク ロ ム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ひ 素 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND

※ 採水場所はポンプ棟である。

※ mは下水道法第8条の規定に基づく放流水の水質基準を超過した検体数, nは全検体数を指し, NDとは検出下限値未満のことである。

		m / n	年平均値	最大値	最小値
健康項目	アルキル水銀 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	総水銀 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	トリクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	テトラクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ジクロロメタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	四塩化炭素 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 2-ジクロロエタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 1-ジクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 3-ジクロロプロペン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	チウラム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	シマジン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	チオベンカルブ (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ベンゼン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	セレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ほう素 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ふっ素 (mg/L)	-/2	0.4	0.5	0.3
特殊項目	アンモニア, アンモニウム化合物 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	-/24	22.3	28.8	17.1
	1, 4-ジオキサン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	フェノール類 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	銅 (mg/L)	-/2	0.030	0.032	0.027
	亜鉛 (mg/L)	-/2	0.088	0.090	0.085
	溶解性鉄 (mg/L)	-/2	0.2	0.2	0.1
	溶解性マンガン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	全クロム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND

イ 放流水

		m/ n	年平均値	最大値	最小値	基準値
流入水量 (m3/日)		-/24	6,767	7,749	6,405	
一般項目	気温 (°C)	-/24	14.7	31.5	2.0	
	水温 (°C)	-/24	24.0	30.5	18.9	
	透視度 (度)	-/24	82	100	53	
	pH	0/24	7.4	7.5	7.2	5.8~8.6
	浮遊物質 (mg/L)	0/24	4	8	2	40
	BOD (mg/L)	0/24	1.8	3.2	1.0	15
	COD (mg/L)	0/24	14.2	18.0	12.0	30
	全窒素 (mg/L)	0/24	24.2	31.3	20.8	120
	アンモニア性窒素 (mg/L)	-/24	19.9	24.0	16.1	
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	-/24	ND	0.3	ND	
	硝酸性窒素 (mg/L)	-/24	ND	0.4	ND	
	有機性窒素 (mg/L)	-/24	4.2	10.3	0.1	
	全りん (mg/L)	0/24	0.9	1.2	0.5	16
	りん酸態りん (mg/L)	-/24	0.6	0.9	0.4	
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	0/24	ND	1	ND	25
	よう素消費量 (mg/L)	-/24	4.8	9.7	0.7	
	塩素イオン (mg/L)	-/24	80.0	97.9	68.5	
	大腸菌群数 (個/cm3)	0/24	19	62	1	3,000
健康項目	カドミウム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.03
	シアン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	1
	有機りん (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	1
	鉛 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	六価クロム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.5
	ひ素 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1

※ 採水場所は放流口である。

※ mは下水道法第8条の規定に基づく放流水の水質基準を超過した検体数、nは全検体数を指し、NDとは検出下限値未満のことである。

		m/ n	年平均値	最大値	最小値	基準値
健康項目	アルキル水銀 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	検出されないこと
	総水銀 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.005
	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.003
	トリクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	テトラクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	ジクロロメタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.2
	四塩化炭素 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.02
	1, 2-ジクロロエタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.04
	1, 1-ジクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	1
	シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.4
	1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	3
	1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.06
	1, 3-ジクロロプロペン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.02
	チウラム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.06
	シマジン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.03
	チオベンカルブ (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.2
	ベンゼン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	セレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	ほう素 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	230
	ふっ素 (mg/L)	0/12	0.2	0.3	0.1	15
	アンモニア, アンモニウム化合物 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	0/24	8.1	10.0	6.4	100
	1, 4-ジオキサン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.5
特殊項目	フェノール類 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	5
	銅 (mg/L)	0/12	0.003	0.007	ND	3
	亜鉛 (mg/L)	0/12	0.034	0.040	0.025	2
	溶解性鉄 (mg/L)	0/12	ND	0.2	ND	10
	溶解性マンガン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	10
	全クロム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	2

5 芦田川流域下水道事業

芦田川流域下水道の地域も産業経済の発展に伴い人口は急増し、都市化現象が著しく進むとともに芦田川の水質も汚濁が進んできた。このまま放置すれば地域住民の生活環境は悪化し、住民の健康にも重大な影響を与えるおそれが出てきた。

このため国の施策である「公害対策基本法」が施行されるにあたり、広島県でも芦田川流域の水質環境の保全を図るため、工場や事業所など企業からの排水は、「水質汚濁防止法」により水質を規制することとし、一方、家庭排水などは「下水道法」によって、芦田川を美しく、きれいに保全するための芦田川流域下水道整備計画を策定し、広島県と関係市が共同して整備計画を実施している。

また、芦田川浄化センターでは自治体間を超えた共同処理として、広島県、福山市及び尾道市の3事業者で汚泥固形燃料化事業を実施しており、2017年（平成29年）1月から供用を開始している。

(1) 整備計画概要及び実績

事業主体	広島県	
関係市	福山市・府中市（2市）	
管渠延長	芦田川幹線	25 km
	沼隈幹線	14 km
浄化センター (1か所)	所在地	福山市箕沖町106番地 芦田川浄化センター
	処理方式	標準活性汚泥法＋急速砂ろ過
	排除方式	分流式
	運転開始	1984年10月1日
中継ポンプ場	1か所(新浜中継ポンプ場)	
事業年度	1974年度（昭和49年度）～2030年度（令和12年度）	
総事業費	1,104億円	

	計 画	実 績 (2020年度末)
処 理 人 口	356,850 人	337,119 人
処 理 面 積	11,725.5 ha	7,203.0 ha
処 理 能 力	205,640 m ³ /日	190,400 m ³ /日

(2) 事業計画等の経過

都市計画決定	下水道法 事業認可	都市計画法 事業認可	主な変更等内容
(当初計画) 1974年12月24日	(当初計画) 1975年2月13日	(当初計画) 1975年3月3日	
(第1回変更) 1978年11月10日	(第1回変更) 1978年12月11日	(第1回変更) 1979年2月7日	・処理分区の変更 ・芦田川幹線の位置変更 ・新浜中継ポンプ場の配置変更 ・処理場の構造・配置変更
(第2回変更) 1984年7月30日	(第2回変更) 1984年8月31日	(第2回変更) 1984年9月11日	・認可区域の縮小 ・芦田川幹線の変更 ・加茂幹線の廃止 ・接続点の追加 ・新浜中継ポンプ場の変更、駅家中継ポンプ場の廃止 ・処理能力の縮小
			・芦田川浄化センター一部供用開始 (1984年10月)
		(第3回変更) 1987年6月20日	・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
(第3回変更) 1989年3月2日	(第3回変更) 1989年3月29日	(第4回変更) 1989年4月11日	・認可区域の拡大 ・芦田川幹線の変更 ・処理場の変更 ・事業期間の延伸
(第4回変更) 1991年9月30日	(第4回変更) 1991年10月24日		・認可区域の拡大 ・処理分区の変更 ・芦田川幹線の管径変更 ・処理場の変更
	(第5回変更) 1993年3月22日		・認可区域の拡大
	(第6回変更) 1994年4月21日		・ポンプ場の変更
(第5回変更) 1995年12月18日			・沼隈町及び福山市の一部の追加 ・沼隈幹線の追加
	(第7回変更) 1996年2月22日	(第5回変更) 1996年3月8日	・期間の延伸
	(第8回変更) 1996年3月29日	(第6回変更) 1996年4月17日	・認可区域の拡大 ・処理分区の変更 ・沼隈町の編入 ・沼隈幹線の追加
(第6回変更) 1997年8月11日	(第9回変更) 1997年12月11日	(第7回変更) 1997年12月24日	・沼隈幹線の一部ルート変更 ・処理分区の分割 ・水処理施設の寸法変更
	(第10回変更) 1999年2月15日	(第8回変更) 1999年3月1日	・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
	(第11回変更) 2000年7月14日	(第9回変更) 2000年7月26日	・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
	(第12回変更) 2002年3月29日		・認可区域の拡大
	(第13回変更) 2004年9月3日	(第10回変更) 2004年12月10日	・全体計画の見直し ・認可区域の拡大 ・処理場の変更 ・事業期間の延伸
(第7回変更) 2006年8月7日	(第14回変更) 2006年6月8日	(第11回変更) 2006年6月23日	・処理場敷地面積の変更 ・汚泥脱水機の機種変更
	(第15回変更) 2007年3月5日	(第12回変更) 2007年3月30日	・認可区域の拡大 ・処理場の変更 ・事業期間の延伸
	(第16回変更) 2011年11月28日	(第13回変更) 2012年1月31日	・全体計画の見直し ・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
	(第17回変更) 2012年9月6日		・汚泥固形燃料化施設の追加
	(第18回変更) 2018年2月7日	(第14回変更) 2018年2月20日	・事業計画区域の拡大 ・事業期間の延伸 ・急速ろ過池の処理方式変更 ・汚泥固形燃料化施設能力の変更 ・下水道法改正に伴う様式1～3の追加

6 合流式下水道改善事業

福山市では、市の中心部578haで雨水と汚水を同一の管渠で排除する合流式下水道を採用している。合流式下水道は、古くから下水道事業に着手している都市を中心に採用されてきた。

しかし、都市化の進展により雨水流出量が増大し、少量の降雨でもたびたび浸水被害が発生するようになったことに加え、降雨時に処理場の処理能力を上回る下水水量になった際、下水の一部が未処理のまま放流され、公共用水域の水質などに影響を与えることがあった。

そこで本市は、早急に浸水被害の軽減と公共用水域の水質保全を図るために1995年度（平成7年度）から合流式下水道改善事業に着手し、増補管とその流末に雨水ポンプ場を整備した。さらに公共用水域への汚濁負荷を軽減するための中央雨水滞水池を建設するなど、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりの実現に向けた取組を行っている。

○全体計画及び実績

	全 体 計 画	実 績 (2020年度末)
排 水 区 域	578ha	
事 業 期 間	1995年度～2021年度	
増 補 管	φ900mm～φ4,500mm L=7,680m	φ2,800mm～φ4,500mm L=5,592m
ポ ン プ 施 設	φ2,000mm 3台 φ1,500mm 1台	φ2,000mm 1台 ※1 φ1,500mm 1台 ※1
雨 水 滞 水 池	8,000m ³	8,000m ³ ※2
高 速 ろ 過 施 設	78,890m ³ /日	78,890m ³ /日 ※2
敷 地 面 積	8,243m ²	8,243m ²
総 事 業 費	約250億円	約184億円

※1 2011年（平成23年）4月供用開始

※2 2014年（平成26年）4月供用開始

○合流改善計画と達成状況

合流改善目標	指標	改善前	目標	2020年度 達成状況
①汚濁負荷の削減 分流式下水道並みに年間BOD 総放流負荷量を削減する	年間BOD総 放流負荷量	412.7t/年	220.2t/年	293.9t/年 (参考値) ※3
②公衆衛生上の安全確保 未処理放流回数を対策前より 半減させる	未処理放流回 数	64回	32回	29回
③夾雑物の削減 吐口において夾雑物を極力防止	スクリーンの 設置有無	あり (達成済)	—	—
④総降雨水量10mm～30mm時に吐口 からのBOD平均水質が40mg/L 以下であること	BOD平均放 流水質	40mg/L以上 あり	すべて 40mg/L以下	36.7mg/L (参考値) ※3

※3 水質調査時の総降雨水量が条件（10mm以上30mm以下）の範囲外のため参考値とする。

7 浸水対策事業

公共下水道の役割としては大雨による浸水被害を軽減することも重要であり、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりのため、時間雨量42mmの降雨により浸水被害が起これる市街地において、雨水を排除するポンプ場や水路の整備に取り組んでいる。

これまで、福山市公共下水道事業経営計画※1（計画期間：2013年度（平成25年度）～2017年（平成29年度））に基づいて主要な雨水幹線及びポンプ場の整備に取り組んでおり、2020年度（令和2年度）には松永2号雨水枝線築造工事等の整備を行った。現在は、一ツ樋ポンプ場や千田ポンプ場の整備に取り組んでいる。

また、「平成30年7月豪雨災害」では、市内において甚大な浸水被害が発生したことから、再度災害の防止に向けた効果的な浸水対策を検討するため、国、県、市及び土地改良区で構成する「福山市域における浸水対策協議会」において、被害発生要因などを分析し、2019年（平成31年）2月に流域毎※2の対策をとりまとめたところである。

さらに、2019年（令和元年）9月には、手城川流域における床上浸水被害解消に向けた取組が、国土交通省の「100mm/h安心プラン」に登録された。

今後も引き続き、国、県等と連携する中で、市街地における抜本的な浸水対策に取り組んでいく予定である。

※1 福山市公共下水道事業経営計画は、2017年（平成29年）2月に策定した「福山市上下水道事業中長期ビジョン（経営戦略）計画期間：2017年度（平成29年度）～2026年度（令和8年度）」に継承した。

※2 流域毎…芦田川中流域、高屋川・小田川流域、瀬戸川流域、手城川流域、松永地域など

○全体計画及び実績

	全 体 計 画	実 績 (2020年度末)
整 備 区 域	6, 227.5 ha	3, 425.4 ha
事 業 期 間	1952年度～2030年度	
整 備 率		55.0 %
対 象 場 所 及 び 路 線		松永2号雨水枝線築造工事等
事 業 費		427.4 百万円

※ 対象場所及び路線、事業費は、2020年度（令和2年度）の実績である。

8 下水道地震対策事業

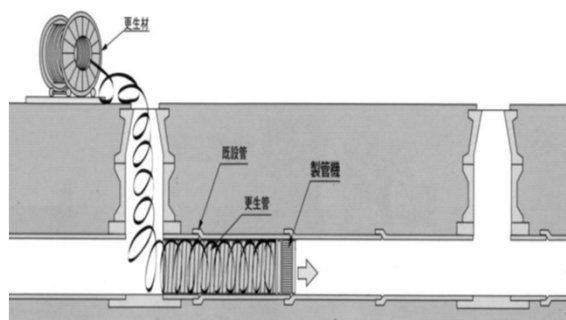
近年、全国各地で大規模地震が発生し、下水道施設に甚大な被害をもたらしている。国においては、1995年（平成7年）に発生した兵庫県南部地震の被害を踏まえ、従来の耐震基準を強化した「下水道施設の耐震対策指針」を1997年（平成9年）に策定した。

本市においても地震による下水道機能の停止によって市民生活や社会活動へ与える影響を最小限に抑えるため、2008年度（平成20年度）に「福山市下水道地震対策緊急整備計画」を、2013年度（平成25年度）には「福山市下水道総合地震対策計画（第1期）」を策定し、下水道施設の耐震化に取り組んできた。また、第1期計画の完了に伴い、引き続き下水道施設の耐震化に取り組むため、2020年度（令和2年度）「福山市下水道総合地震対策計画（第2期）」を策定した。

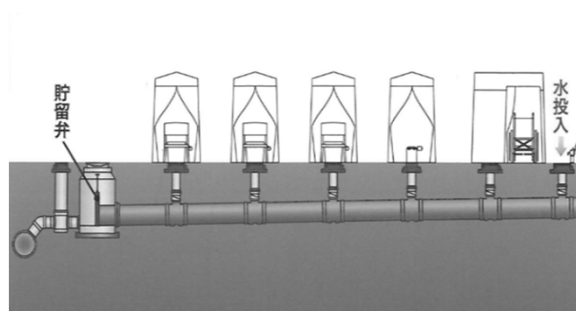
第2期計画は、広域避難場所から流域下水道までの管路施設や軌道・河川を横断する管路施設等の耐震化をはじめ、マンホールトイレの整備や松永浄化センター・戸手ポンプ場・新涯ポンプ場など、施設の耐震補強を行う内容としている。

○下水道総合地震対策計画及び実績

	下水道総合地震対策計画 (第1期)	実 績 (2020年度末)
対 象 場 所 及 び 施 設	防災拠点・広域避難場所からの管路施設 松永浄化センター 水呑ポンプ場、松永ポンプ場	防災拠点・広域避難場所からの管路施設 松永浄化センター 水呑ポンプ場、松永ポンプ場
事 業 期 間	2013年度～2020年度	
耐震化管渠	φ450mm～φ2,700mm L＝約1.6km	φ450mm～φ2,700mm L＝約1.6km
マンホール トイレ整備	広域避難場所 48基	広域避難場所 48基
耐震化施設	松永浄化センター 水呑ポンプ場、松永ポンプ場	松永浄化センター 水呑ポンプ場、松永ポンプ場
総 事 業 費	約18.6億円	約17.2億円



下水道管渠の耐震化工事のイメージ
(既設管の中に、地震に強い管を新しく造る)



マンホールトイレのイメージ

9 下水道長寿命化事業

全国的に下水道管渠の老朽化に起因した道路陥没事故が近年多く発生している。管渠が破損すれば、下水の収集や排除に影響するだけでなく、道路陥没により交通障害なども引き起こすことになる。

本市においては、1952年度（昭和27年度）から下水道事業に着手し、2020年度（令和2年度）末時点の汚水管渠の整備延長は約1,837kmとなっており、その内、約80kmが耐用年数である50年を経過している。

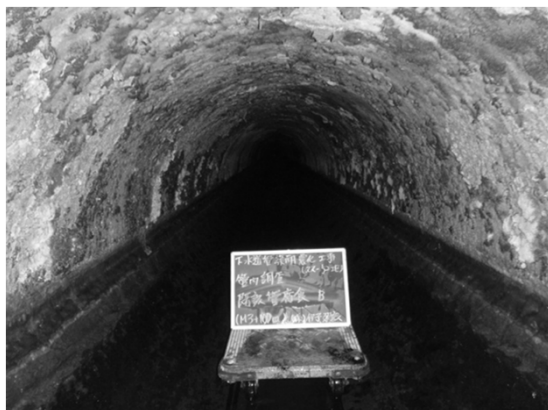
今後、更に老朽管渠が増加することから、管渠破損の未然防止とライフサイクルコストの最小化の観点を踏まえ、耐震化などの機能向上も考慮した「福山市下水道長寿命化計画」（第1期）を2010年度（平成22年度）に策定し、埋設から40年以上経過している旧新浜処理区内の重要度の高い幹線管渠について、劣化度と緊急度を考慮し管渠の更生を行った。

同計画の完了に伴い2013年度（平成25年度）には第2期計画を策定し、緊急輸送道路と主要幹線道路に埋設されている管渠のうち劣化度の高い管渠の更生や、経年劣化したマンホール蓋の取替えを行うなど、継続的な下水道施設の長寿命化に取り組んできた。

また、2019年度（令和元年度）には「福山市公共下水道ストックマネジメント計画」を策定し、長期的な視点による下水道施設全体の老朽化が進む状況を踏まえる中で、リスク評価等による優先順位付けを行い、施設の点検・調査、修繕・改築を一体的に実施し、下水道施設全体を対象とした施設管理の最適化に取り組んでいる。

○公共下水道ストックマネジメント計画及び実績

	公共下水道 ストックマネジメント計画	実 績 (2020年度末)
対 象 場 所	旧新浜処理区	東桜町，三之丸町，昭和町， 霞町四丁目ほか
事 業 期 間	2019年度～2023年度	
対策施設数量	φ150mm～φ1,000mm L＝約5.0km マンホール 113基 マンホール蓋 242箇所	φ250mm～φ600mm L＝約1.2km マンホール蓋 129箇所
総 事 業 費	約8.6億円	約3.2億円



【施工前】



【施工後】

10 普及促進等

(1) 下水道事業受益者負担金収納

(単位：件, 円)

年度	調 定		収 納		未 収		収 納 率	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
2016	11,051	169,939,370	10,739	165,721,790	312	4,217,580	97.18%	97.52%
2017	11,783	172,424,460	11,423	168,649,340	360	3,775,120	96.94%	97.81%
2018	7,891	142,139,730	7,603	139,293,950	288	2,845,780	96.35%	98.00%
2019	7,847	139,870,950	7,543	135,756,050	304	4,114,900	96.13%	97.06%
2020	5,895	67,559,490	5,712	65,650,890	183	1,908,600	96.90%	97.17%

※ 調定及び収納は、当該年度のものである。

※ 未収は、不納欠損前の数値である。

受益者負担金の負担区分

新浜負担区	136円/㎡
芦田川負担区	246円/㎡
松永負担区	246円/㎡

(2) 水洗便所改造資金融資あっせん制度の利用状況及び利子補給実行状況

(単位：件(人), 円)

年度	実行件数 (人数)	実行金額	利子補給率	利子補給額
2016	42	23,490,000	1.00%	670,403
2017	35	18,290,000	0.95%	555,702
2018	19	9,520,000	1.00%	402,680
2019	17	10,490,000	1.00%	303,574
2020	5	2,290,000	1.00%	207,192

(3) 私道への公共下水道布設制度の申請状況

(単位：件)

年度	件 数
2016	24
2017	17
2018	16
2019	1
2020	4

11 下水道使用料

(1) 下水道使用料調定

(単位：件, 円, 税込)

年度	調 定		徴 収 方 法			
	件 数	金 額	口 座		納 付	
			件 数	金 額	件 数	金 額
2016	810,037	6,461,204,767	612,957	5,080,876,276	197,080	1,380,328,491
2017	830,626	6,467,457,406	627,254	5,138,972,138	203,372	1,328,485,268
2018	844,375	6,517,314,845	629,939	5,270,199,546	214,436	1,247,115,299
2019	857,830	6,501,833,792	635,056	5,276,364,106	222,774	1,225,469,686
2020	870,161	6,614,597,245	642,272	5,345,298,809	227,889	1,269,298,436
1期	144,417	1,075,502,868	106,342	870,303,451	38,075	205,199,417
2期	144,720	1,078,123,911	106,794	869,617,107	37,926	208,506,804
3期	144,617	1,120,609,359	107,012	895,879,062	37,605	224,730,297
4期	144,836	1,124,616,716	107,269	912,248,749	37,567	212,367,967
5期	144,919	1,097,744,544	107,434	893,301,048	37,485	204,443,496
6期	146,652	1,117,999,847	107,421	903,949,392	39,231	214,050,455
期平均	145,027	1,102,432,874	107,045	890,883,135	37,982	211,549,739

※ 調定は、当該年度末の数値である。

(2) 下水道使用料収納

(単位：件, 円, 税込)

年度	調 定		収 納		未 収		収 納 率	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
2016	810,037	6,461,204,767	791,335	6,347,095,218	18,702	114,109,549	97.69%	98.23%
2017	830,626	6,467,457,406	809,340	6,351,092,138	21,286	116,365,268	97.44%	98.20%
2018	844,375	6,517,314,845	822,509	6,400,501,448	21,866	116,813,397	97.41%	98.21%
2019	857,830	6,501,833,792	835,390	6,376,313,710	22,440	125,520,082	97.38%	98.07%
2020	870,161	6,614,597,245	848,157	6,491,264,516	22,004	123,332,729	97.47%	98.14%

※ 調定及び収納は、当該年度のものである。

※ 未収は、不納欠損前の数値である。

(3) 使用料表（1か月、税抜）

用 途	基本使用料	従 量 使 用 料	
		排 除 汚 水 量	使用料 (1m ³ につき)
一般用	790円	10m ³ までの分	20 円
		10m ³ を超え15m ³ までの分	147 円
		15m ³ を超え20m ³ までの分	187 円
		20m ³ を超え30m ³ までの分	228 円
		30m ³ を超え250m ³ までの分	261 円
		250m ³ を超える分	267 円
公衆浴場用	260円	10m ³ までの分	20 円
		10m ³ を超える分	46 円

12 財 務

(1) 決算報告書

ア 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
第1款 下水道事業収益	円 12,614,830,000	円 △ 20,925,000	円 0
第1項 営 業 収 益	8,341,024,000	△ 11,181,000	0
第2項 営 業 外 収 益	4,209,906,000	△ 9,744,000	0
第3項 特 別 利 益	63,900,000	0	0

支 出

区 分	予 算				
	当初予算額	補正予算額	予 備 費 額 支 出 額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額
第1款 下水道事業費用	円 10,904,586,000	円 △ 35,761,000	円 0	円 0	円 0
第1項 営 業 費 用	9,256,334,000	△ 35,761,000	0	0	0
第2項 営 業 外 費 用	1,632,251,000	0	0	0	0
第3項 特 別 損 失	6,001,000	0	0	0	0
第4項 予 備 費	10,000,000	0	0	0	0

イ 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算			地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	
第1款 下水道事業資本的収入	円 5,420,979,000	円 95,000,000	円 5,515,979,000	円 1,257,300,000
第1項 企 業 債	3,457,500,000	47,500,000	3,505,000,000	782,700,000
第2項 国 庫 補 助 金	1,237,920,000	47,500,000	1,285,420,000	474,600,000
第3項 出 資 金	586,440,000	0	586,440,000	0
第4項 補償金及び負担金	127,332,000	0	127,332,000	0
第5項 固定資産売却代金	11,787,000	0	11,787,000	0

支 出

区 分	予 算					地方公営企業法第26条の規定による繰越額
	当初予算額	補正予算額	予 備 費 額 支 出 額	流 用 増 減 額	小 計	
第1款 下水道事業資本的支出	円 10,872,077,000	円 68,141,000	円 0	円 0	円 10,940,218,000	円 1,277,500,000
第1項 建 設 改 良 費	4,330,877,000	68,141,000	0	0	4,399,018,000	1,277,500,000
第2項 企 業 債 償 還 金	6,532,506,000	0	0	0	6,532,506,000	0
第3項 国 庫 補 助 金 返 還 金	3,694,000	0	0	0	3,694,000	0
第4項 予 備 費	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 5,366,899,249円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 188,692,958円、減債積立金取崩し額 1,476,950,662円、当年度分損益勘定留保資金 3,529,080,392円及び当年度利益剰余金処分額 172,175,237円で補てんした。

額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計				
円	円	円	円	
12,593,905,000	12,394,709,436	△ 199,195,564		
8,329,843,000	8,157,074,245	△ 172,768,755	(うち、仮受消費税及び地方消費税 601,088,254円)	
4,200,162,000	4,171,828,937	△ 28,333,063	(うち、仮受消費税及び地方消費税 29,398円)	
63,900,000	65,806,254	1,906,254		

額			決 算 額	地方公営企業法 第26条第2項 の規定による繰 越額	不 用 額	備 考
小 計	地方公営企業法 第26条第2項 の規定による繰 越額	合 計				
円	円	円	円	円	円	
10,868,825,000	0	10,868,825,000	10,320,338,790	0	548,486,210	
9,220,573,000	0	9,220,573,000	8,741,940,059	0	478,632,941	(うち、仮払消費税 及び地方消費税 241,986,674円)
1,632,251,000	0	1,632,251,000	1,574,254,451	0	57,996,549	(うち、仮払消費税 及び地方消費税 37,994円)
6,001,000	0	6,001,000	4,144,280	0	1,856,720	(うち、納付税額 219,842,600円)
10,000,000	0	10,000,000	0	0	10,000,000	

額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
継続費通次繰越額に 係る財源充当額	合 計			
円	円	円	円	
0	6,773,279,000	4,627,391,522	△ 2,145,887,478	
0	4,287,700,000	2,995,900,000	△ 1,291,800,000	
0	1,760,020,000	912,450,000	△ 847,570,000	
0	586,440,000	586,440,000	0	
0	127,332,000	118,936,080	△ 8,395,920	
0	11,787,000	13,665,442	1,878,442	(うち、仮受消費税及び地方消費税 550,579円)

額		決 算 額	翌 年 度 繰 越 額		不 用 額	備 考
継続費 通次繰 越額	合 計		地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費 通次繰 越額		
円	円	円	円	円	円	
0	12,217,718,000	9,994,290,771	2,035,900,000	0	2,035,900,000	187,527,229
0	5,676,518,000	3,458,405,680	2,035,900,000	0	2,035,900,000	182,212,320
0	6,532,506,000	6,532,505,927	0	0	0	73
0	3,694,000	3,379,164	0	0	0	314,836
0	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000

(2) 比較損益計算書

区 分	2018年度		2019年度		2020年度		対 前 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
事 業 収 益	円 11,885,547,346	% 100.0	円 11,697,099,540	% 100.0	円 11,794,341,678	% 100.0	円 97,242,138	% 100.8
営 業 収 益	7,477,296,585	62.9	7,532,105,172	64.4	7,555,985,991	64.1	23,880,819	100.3
下水道使用料	6,034,941,585	50.8	5,991,001,172	51.2	6,013,508,991	51.0	22,507,819	100.4
他会計負担金	1,440,715,000	12.1	1,540,309,000	13.2	1,542,047,000	13.1	1,738,000	100.1
その他営業収益	1,640,000	0.0	795,000	0.0	430,000	0.0	△ 365,000	54.1
営 業 外 収 益	4,316,054,445	36.3	4,164,994,368	35.6	4,172,549,433	35.4	7,555,065	100.2
受 取 利 息	201,266	0.0	943,107	0.0	465,781	0.0	△ 477,326	49.4
国 庫 負 担 金	850,000	0.0	-	-	-	-	-	-
他会計負担金	2,061,802,303	17.3	1,999,706,000	17.1	1,969,659,000	16.7	△ 30,047,000	98.5
長期前受金戻入	2,211,593,794	18.6	2,154,395,606	18.4	2,199,049,729	18.7	44,654,123	102.1
雑 収 益	41,607,082	0.4	9,949,655	0.1	3,374,923	0.0	△ 6,574,732	33.9
特 別 利 益	92,196,316	0.8	-	-	65,806,254	0.5	65,806,254	皆増
固定資産売却益	-	-	-	-	65,734,254	0.5	65,734,254	皆増
その他特別利益	92,196,316	0.8	-	-	72,000	0.0	72,000	皆増

事 業 費 用	10,419,864,400	100.0	10,139,323,347	100.0	9,908,663,990	100.0	△ 230,659,357	97.7
営 業 費 用	8,379,998,942	80.4	8,497,805,255	83.8	8,499,953,385	85.8	2,148,130	100.0
管 渠 費	220,436,984	2.1	283,960,140	2.8	331,237,573	3.3	47,277,433	116.6
ポンプ場費	349,755,696	3.4	379,901,409	3.7	393,133,646	4.0	13,232,237	103.5
処 理 場 費	234,560,871	2.2	239,898,018	2.4	230,056,667	2.3	△ 9,841,351	95.9
排水設備費	54,632,512	0.5	54,026,273	0.5	66,344,094	0.7	12,317,821	122.8
流域下水道費	1,353,519,642	13.0	1,398,752,415	13.8	1,346,113,969	13.6	△ 52,638,446	96.2
業 務 費	198,114,035	1.9	208,085,704	2.1	220,312,087	2.2	12,226,383	105.9
総 係 費	299,490,652	2.9	234,961,690	2.3	212,405,141	2.1	△ 22,556,549	90.4
減価償却費	5,613,340,586	53.9	5,597,421,436	55.2	5,683,062,357	57.4	85,640,921	101.5
資産減耗費	56,147,964	0.5	100,798,170	1.0	17,287,851	0.2	△ 83,510,319	17.2
営 業 外 費 用	1,674,169,838	16.1	1,539,935,701	15.2	1,404,566,325	14.2	△ 135,369,376	91.2
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,636,933,585	15.7	1,495,548,328	14.8	1,353,962,491	13.7	△ 141,585,837	90.5
雑 支 出	37,236,253	0.4	44,387,373	0.4	50,603,834	0.5	6,216,461	114.0
特 別 損 失	365,695,620	3.5	101,582,391	1.0	4,144,280	0.0	△ 97,438,111	4.1
資産減耗費	361,202,624	3.5	-	-	-	-	-	-
固定資産譲渡損	-	-	9,017,217	0.1	55,138	0.0	△ 8,962,079	0.6
過年度損益修正損	2,636,996	0.0	1,489,672	0.0	4,089,142	0.0	2,599,470	274.5
その他特別損失	1,856,000	0.0	91,075,502	0.9	-	-	△ 91,075,502	皆減

当 年 度 純 利 益	1,465,682,946	-	1,557,776,193	-	1,885,677,688	-	327,901,495	-
-------------	---------------	---	---------------	---	---------------	---	-------------	---

(3) 比較貸借対照表

区 分	2018年度		2019年度		2020年度		対 前 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
固 定 資 産	円	%	円	%	円	%	円	%
固 定 資 産	169,529,569,268	98.3	167,926,285,735	98.0	165,956,176,073	98.0	△ 1,970,109,662	98.8
有 形 固 定 資 産	162,074,779,520	94.0	160,837,655,695	93.9	159,085,350,884	94.0	△ 1,752,304,811	98.9
土 地	3,762,753,706	2.2	3,761,040,811	2.2	3,760,184,489	2.2	△ 856,322	100.0
建 物	2,284,605,318	1.3	2,181,055,388	1.3	2,264,921,839	1.4	83,866,451	103.8
構 築 物	148,284,804,543	86.0	147,006,000,455	85.8	144,454,233,752	85.3	△ 2,551,766,703	98.3
機 械 及 び 装 置	5,799,971,232	3.4	6,764,188,155	4.0	6,557,606,332	3.9	△ 206,581,823	96.9
車 両 運 搬 具	2,438,027	0.0	3,585,333	0.0	4,579,483	0.0	994,150	127.7
工 具 器 具 及 び 備 品	74,908,096	0.0	65,622,228	0.0	63,777,537	0.0	△ 1,844,691	97.2
建 設 仮 勘 定	1,865,298,598	1.1	1,056,163,325	0.6	1,980,047,452	1.2	923,884,127	187.5
無 形 固 定 資 産	7,442,154,748	4.3	7,075,995,040	4.1	6,858,190,189	4.0	△ 217,804,851	96.9
投 資 そ の 他 の 資 産	12,635,000	0.0	12,635,000	0.0	12,635,000	0.0	-	100.0
流 動 資 産	2,947,850,787	1.7	3,475,984,161	2.0	3,325,198,177	2.0	△ 150,785,984	95.7
現 金 及 び 預 金	2,518,097,794	1.4	3,193,787,514	1.9	2,942,184,196	1.8	△ 251,603,318	92.1
未 収 金	454,046,149	0.3	394,914,810	0.2	400,506,989	0.2	5,592,179	101.4
貸 倒 引 当 金	△ 24,379,156	0.0	△ 112,807,163	△ 0.1	△ 17,582,008	0.0	95,225,155	15.6
そ の 他 流 動 資 産	86,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	-	100.0
資 産 合 計	172,477,420,055	100.0	171,402,269,896	100.0	169,281,374,250	100.0	△ 2,120,895,646	98.8

固 定 負 債	80,684,576,533	46.8	77,281,357,558	45.1	73,732,376,839	43.6	△ 3,548,980,719	95.4
企 業 債	80,517,073,067	46.7	77,086,067,140	45.0	73,506,679,646	43.4	△ 3,579,387,494	95.4
引 当 金	167,503,466	0.1	195,290,418	0.1	225,697,193	0.2	30,406,775	115.6
退職給付引当金	167,503,466	0.1	195,290,418	0.1	225,697,193	0.2	30,406,775	115.6
流 動 負 債	8,068,985,672	4.6	8,531,539,426	5.0	8,186,983,220	4.8	△ 344,556,206	96.0
企 業 債	6,594,982,979	3.8	6,532,505,927	3.8	6,575,287,494	3.9	42,781,567	100.7
未 払 金	1,432,893,711	0.8	1,941,416,129	1.2	1,563,511,758	0.9	△ 377,904,371	80.5
引 当 金	33,449,521	0.0	34,540,931	0.0	33,865,877	0.0	△ 675,054	98.0
そ の 他 流 動 負 債	7,659,461	0.0	23,076,439	0.0	14,318,091	0.0	△ 8,758,348	62.0
繰 延 収 益	65,855,985,816	38.2	65,541,411,363	38.2	64,820,318,842	38.3	△ 721,092,521	98.9
長 期 前 受 金	65,855,985,816	38.2	65,541,411,363	38.2	64,820,318,842	38.3	△ 721,092,521	98.9
負 債 合 計	154,609,548,021	89.6	151,354,308,347	88.3	146,739,678,901	86.7	△ 4,614,629,446	97.0

資 本 金	13,711,140,101	8.0	15,990,938,591	9.3	18,059,040,814	10.7	2,068,102,223	112.9
資 本 金	13,711,140,101	8.0	15,990,938,591	9.3	18,059,040,814	10.7	2,068,102,223	112.9
剰 余 金	4,156,731,933	2.4	4,057,022,958	2.4	4,482,654,535	2.6	425,631,577	110.5
資 本 剰 余 金	1,022,394,954	0.6	1,033,563,819	0.6	1,039,200,654	0.6	5,636,835	100.5
利 益 剰 余 金	3,134,336,979	1.8	3,023,459,139	1.8	3,443,453,881	2.0	419,994,742	113.9
資 本 合 計	17,867,872,034	10.4	20,047,961,549	11.7	22,541,695,349	13.3	2,493,733,800	112.4
負 債 資 本 合 計	172,477,420,055	100.0	171,402,269,896	100.0	169,281,374,250	100.0	△ 2,120,895,646	98.8

有形固定資産減価償却累計	35,393,996,410	-	40,451,212,516	-	45,633,850,466	-	5,182,637,950	-
--------------	----------------	---	----------------	---	-----------------------	---	---------------	---

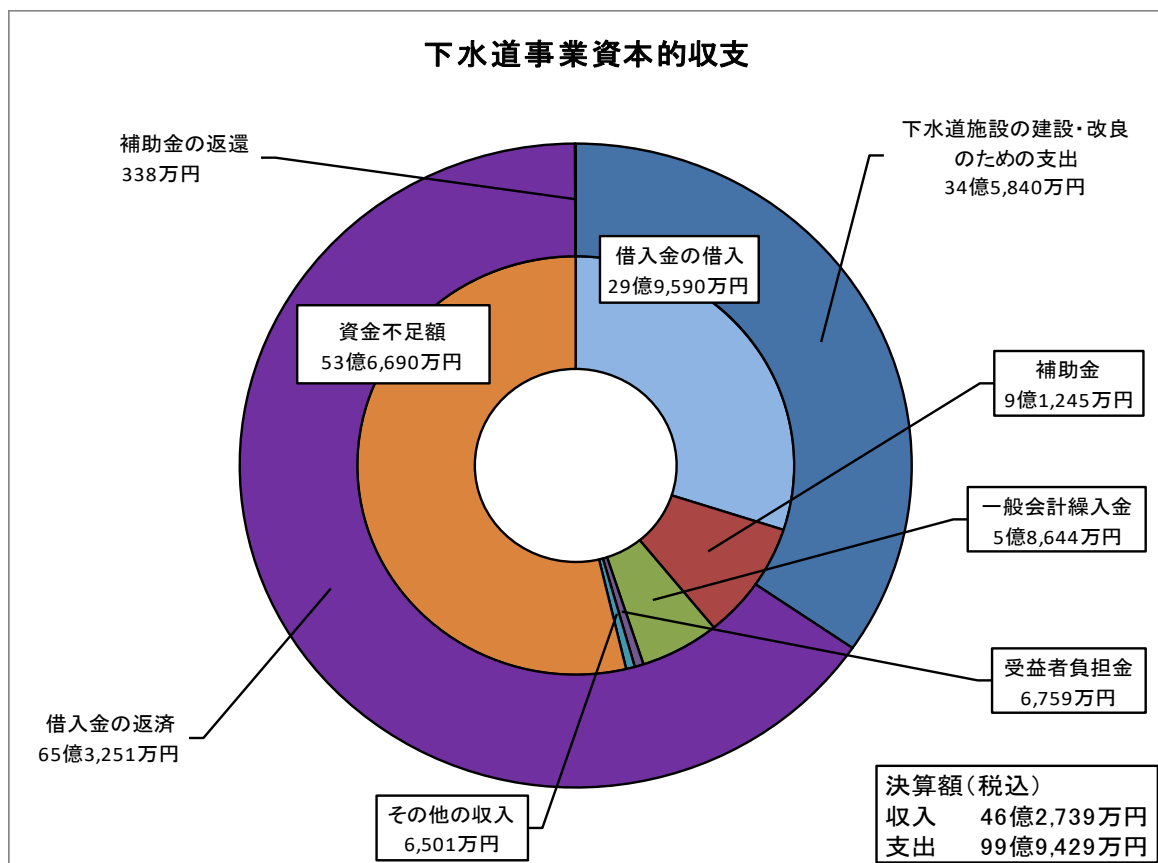
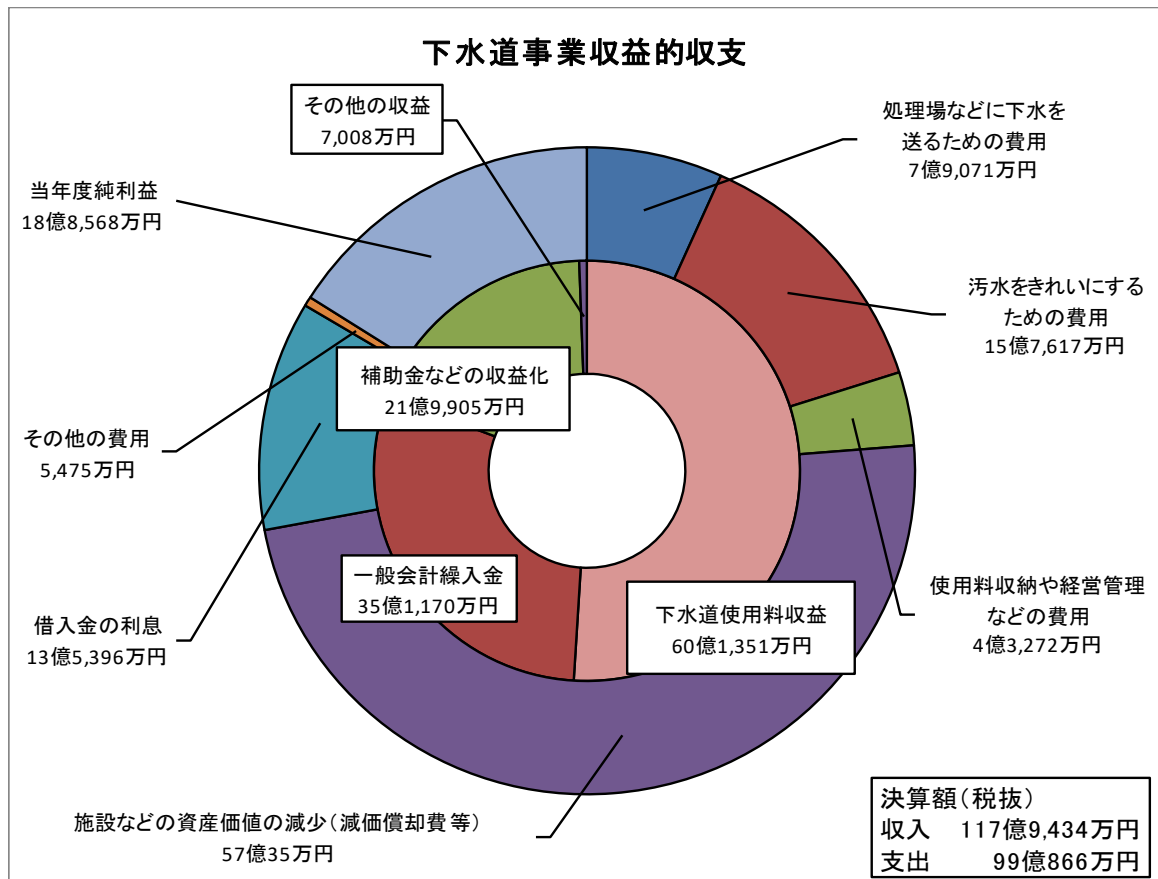
(4) 比較費用構成表

区 分	2018年度		2019年度		2020年度		対前年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
職 員 給 与 費	千円 399,203	% 3.8	千円 402,194	% 4.0	千円 340,135	% 3.4	千円 △ 62,059	% 84.6
給 料	185,480	1.8	186,463	1.8	163,964	1.7	△ 22,499	87.9
手 当 等	86,671	0.8	85,563	0.9	73,646	0.8	△ 11,917	86.1
賞与引当金 繰 入 額	15,353	0.1	16,626	0.2	14,001	0.1	△ 2,625	84.2
報 酬	17,934	0.2	18,158	0.2	31	0.0	△ 18,127	0.2
法定福利費	61,333	0.6	60,471	0.6	52,435	0.5	△ 8,036	86.7
法定福利費 引当金繰入額	2,855	0.0	3,141	0.0	2,622	0.0	△ 519	83.5
退職給付費	29,577	0.3	31,772	0.3	33,436	0.3	1,664	105.2
動 力 費	97,935	0.9	44,175	0.4	48,948	0.5	4,773	110.8
委 託 料	578,478	5.6	679,773	6.7	761,516	7.7	81,743	112.0
修 繕 費	99,398	1.0	141,425	1.4	165,262	1.7	23,837	116.9
薬 品 費	862	0.0	1,021	0.0	1,548	0.0	527	151.6
流域下水道 負 担 金	1,353,520	13.0	1,398,752	13.8	1,346,114	13.6	△ 52,638	96.2
減価償却費	5,613,340	53.9	5,597,422	55.2	5,683,062	57.3	85,640	101.5
支 払 利 息	1,636,934	15.7	1,495,548	14.8	1,353,962	13.7	△ 141,586	90.5
その他経常費用	274,499	2.6	277,431	2.7	203,973	2.1	△ 73,458	73.5
特 別 損 失	365,695	3.5	101,582	1.0	4,144	0.0	△ 97,438	4.1
合 計	10,419,864	100.0	10,139,323	100.0	9,908,664	100.0	△ 230,659	97.7

(5) 污水处理原価

区 分	2018年度		2019年度		2020年度		対前年度	
	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り
職 員 給 与 費	千円 259,120	円/㎡ 7.27	千円 223,148	円/㎡ 6.26	千円 199,884	円/㎡ 5.54	千円 △ 23,264	円/㎡ △ 0.72
動 力 費	26,867	0.75	823	0.02	1,266	0.04	443	0.02
委 託 料	386,118	10.84	445,382	12.50	516,848	14.33	71,466	1.83
修 繕 費	38,784	1.09	38,562	1.08	45,418	1.26	6,856	0.18
流域下水道 負 担 金	1,300,201	36.49	1,349,277	37.87	1,280,900	35.51	△ 68,377	△ 2.36
減価償却費	2,092,500	58.73	2,091,801	58.72	2,100,920	58.25	9,119	△ 0.47
支 払 利 息	702,016	19.70	639,706	17.96	576,667	15.99	△ 63,039	△ 1.97
そ の 他	171,348	4.81	117,105	3.29	102,110	2.83	△ 14,995	△ 0.46
合 計	4,976,954	139.68	4,905,804	137.70	4,824,013	133.75	△ 81,791	△ 3.95
年間有収水量	35,632,028 m ³		35,625,984 m ³		36,066,649 m³		440,665 m ³	-

(6) 決算収支図



(7) 経営指標

項 目		単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
施設	負 荷 率	%	75.0	70.5	63.4	71.1	73.3
	施 設 利 用 率	%	63.3	63.7	63.1	60.1	59.9
	最 大 稼 働 率	%	84.4	90.3	99.7	84.5	81.7
	有 収 率	%	86.00	85.56	85.99	90.51	87.05
	有形固定資産減価償却率	%	13.69	15.97	18.45	20.59	22.93
	管 渠 改 善 率	%	0.01	0.16	0.05	0.02	0.09
生産性	職 員 1 人 当 た り 処 理 区 域 内 人 口	人	7,644	7,248	7,280	7,390	7,009 (8,344)
	職員 1 人 当 たり 処 理 水 量	m ³	942,196	882,151	881,684	837,485	828,635 (986,471)
健全性	固 定 資 産 構 成 比 率	%	98.6	98.4	98.3	98.0	98.0
	自 己 資 本 構 成 比 率	%	45.7	47.1	48.5	49.9	51.6
	固 定 負 債 構 成 比 率	%	49.8	48.2	46.8	45.1	43.6
	経 常 収 支 比 率	%	118.6	117.7	117.3	116.5	118.4
	累 積 欠 損 金 比 率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流 動 比 率	%	31.6	33.8	36.5	40.7	40.6
	固 定 資 産 回 転 率	回	0.05	0.04	0.04	0.05	0.05
	企 業 債 残 高 対 事 業 規 模 比 率	%	1,446.6	1,397.7	1,332.4	1,294.2	1,238.7
	処 理 区 域 内 人 口 1 人 当 たり 企 業 債 現 在 高	万円	28.1	26.7	25.5	24.1	22.9
使用料	使 用 料 単 価	円/m ³	167.27	168.68	169.22	168.03	166.61
	汚 水 処 理 原 価	円/m ³	142.98	138.66	139.68	137.70	133.75
	経 費 回 収 率	%	117.0	121.7	121.2	122.0	124.6

※ 金額は税抜である。

算 出 基 礎		説 明
$\frac{110,581}{150,801} \frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{日平均処理水量（晴天時）}}{\text{日最大処理水量（晴天時）}}$	1日最大処理水量（晴天時）に対する1日平均処理水量（晴天時）の割合を示すもので、下水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{110,581}{184,523} \frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{日平均処理水量（晴天時）}}{\text{処理能力（晴天時）}}$	現在処理能力（晴天時）に対する1日平均処理水量（晴天時）の割合を示すもので、下水道施設の利用状況や適正規模を判断する指標。
$\frac{150,801}{184,523} \frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{日最大処理水量（晴天時）}}{\text{処理能力（晴天時）}}$	施設の処理能力に対する1日最大処理水量（晴天時）の割合を示すもので、下水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{36,066,649}{41,431,764} \frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{有収水量}}{\text{汚水処理水量}}$	処理した汚水のうち使用料徴収の対象となる有収水量の割合を示すもので、有収率が高いほど使用料徴収の対象とできない不明水が少なく、効率的であるということを表す指標。
$\frac{45,633,850}{198,978,969} \frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}}$	資産の老朽化割合を示すもので、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。
$\frac{1.62}{1,883} \frac{\text{k m}}{\text{k m}}$	改善（更新・改良・維持）管渠延長 下水道布設延長	総延長のうち、当該年度に修繕・改良・更新を行った管渠の割合を示すもので、管渠の改善状況を表す指標。
$\frac{350,448}{※1 \ 50} \frac{\text{人}}{\text{人}}$	$\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	損益勘定職員1人当たりの処理区域内人口を示すもので、下水道サービスの生産性を表す指標。
$\frac{41,431,764}{※1 \ 50} \frac{\text{m}^3}{\text{人}}$	$\frac{\text{汚水処理水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	損益勘定職員1人当たりの汚水処理水量を示すもので、下水道サービスの生産性を示す指標。
$\frac{165,956,176}{169,281,374} \frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延資産}}$	総資産（固定資産・流動資産・繰延資産）に占める固定資産の割合を示すもので、経営の柔軟性を表す指標。
$\frac{87,362,014}{169,281,374} \frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}}$	総資本（負債・資本）に占める自己資本の割合を示すもので、財務の健全性を表す指標。
$\frac{73,732,377}{169,281,374} \frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}}$	総資本（負債・資本）に占める固定負債の割合を示すもので、財務の健全性を表す指標。
$\frac{11,728,536}{9,904,520} \frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、事業の収益性を表す指標。
$\frac{0}{7,555,986} \frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}$	営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと）の状況を表す指標。
$\frac{3,325,198}{8,186,983} \frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	流動負債に対する流動資産の割合を示すもので、短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
$\frac{7,555,986}{165,200,016} \frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{期末期首(固定資産} - \text{建設仮勘定)} \div 2}$	固定資産に対する営業収益の割合を示すもので、固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを表す指標。
$\frac{74,492,526}{6,013,939} \frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{企業債残高} - \text{一般会計負担金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金}}$	使用料収入に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高の規模を表す指標。
$\frac{80,081,967}{350,448} \frac{\text{千円}}{\text{人}}$	$\frac{\text{企業債残高}}{\text{処理区域内人口}}$	処理区域内人口1人当たりの企業債現在高を示すもので、過度の負担を将来に先送りしていないかを分析する指標。
$\frac{6,009,230}{36,066,649} \frac{\text{千円}}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{使用料収入}}{\text{有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ下水道使用料を得ているかを表す指標。
$\frac{4,824,013}{36,066,649} \frac{\text{千円}}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{汚水処理費}}{\text{有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ汚水処理費用がかかっているかを表す指標。
$\frac{166.61}{133.75} \frac{\text{円}}{\text{円}}$	$\frac{\text{使用料単価}}{\text{汚水処理原価}}$	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表すもので、使用料水準等が適正かを評価する指標。

※1 2020年度（令和2年度）から、損益勘定所属職員数には短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含む。

（ ）内は、短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含まない場合の参考値である。